

第七十五回
帝國議會
貴族院

所得稅法改正法律案特別委員會會議事速記第一號

(二四七)

付託議案

所得稅法改正法律案

法人稅法案

特別法人稅法案

配當利子特別稅法案

外貨債特別稅法中改正法律案

相續稅法中改正法律案

建築稅法案

鑛區稅法案

臨時利得稅法中改正法律案

營業稅法案

地租法中改正法律案

酒稅法案

清涼飲料稅法中改正法律案

砂糖消費稅法中改正法律案

織物消費稅法中改正法律案

揮發油稅法中改正法律案

物品稅法案

遊興飲食稅法案

取引所稅法中改正法律案

通行稅法案

入場稅法案

印紙稅法中改正法律案

骨牌稅法中改正法律案

狩獵法中改正法律案

明治四十四年法律第四十五號中改正法律案

大正九年法律第五十一號中改正法律案

支那事變特別稅法及臨時租稅增徴法廢止法律案

營業收益稅法廢止法律案

資本利子稅法廢止法律案

法人資本稅法廢止法律案

臨時租稅措置法中改正法律案

家屋稅法案

所得稅法人稅內外關涉法案

昭和十二年法律第九十四號中改正法律案

大正十三年法律第六號中改正法律案

アルコール製造事業等ニ對スル所得稅等ノ免除規定ノ改正ニ關スル法律案

租稅法規ノ改正ニ伴フ恩給金庫法等ノ規定ノ整理ニ關スル法律案

委員氏名

委員長 伯爵林 博太郎君

副委員長 男爵松岡 均君

公爵島津 忠重君

侯爵細川 護立君

侯爵筑波 藤麿君

伯爵二荒 芳徳君

子爵青木 信光君

子爵大河内輝耕君

子爵八條 隆正君

子爵高橋 是賢君

子爵三島 通陽君

中川 健藏君

男爵赤松 範一君

男爵岩倉 道俱君

男爵伊江 朝助君

坂野鉄次郎君

三浦 新七君

河田 烈君

西野 元君

土方 久徵君

澁澤 金藏君

今井 五介君

松本 眞平君

磯野 庸幸君

橋本辰二郎君

安宅 彌吉君

野村 徳七君

昭和十五年三月十八日(月曜日)午後一時四十八分開會

○委員長(伯爵林博太郎君) 只今ヨリ所得稅法中改正法律案外三十六件ノ特別委員會ヲ開會致シマス、初メニハ大體一般ノ御質問ヲ願ヒタイト思ヒマス、橋本辰二郎君カラ御通告ガアリマシタカラ御願ヒ致シマス、尙御相談致シマスガ、本議場ニ於キマシテ大藏大臣カラ相當詳細ナル國稅ニ關スル御説明ガアリマシタカラ御異議ガアリマセスケレバ再度ノ御説明省ハ略致シタイト思ヒマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○子爵大河内輝耕君 私議事進行ニ付テチヨット申上ゲタイト思ヒマスガ、今日ハ大藏大臣ハズットオイデニナルサウデスガ、ドウカ議事ノ進行ノ爲ニ御出席ニナル日ハ一ツ決メテ戴キタイト思ヒマス、今日ト明後日ナラ明後日、明後々日ナラ明後々日ト、其ノ分量ハ決シテ彼之レ申上ゲマセスガ、前以テ決ツテ居リマス、其ノ日ニ大藏大臣ノ質問ハズツカリ讓リマシテ、他ノ日ニハ大藏大臣デナイ方ノ質問ガ出來ヤウト思ヒマスカラ、如何デセウ、今日ト何日ガ宜シ

ウゴザイマスカ

○國務大臣(櫻内幸雄君) 遅レテ居リマスカラ、成ルベク多く出席スル積リデ居リマスガ、外サシテ戴ク日ノ方ヲ決メテ申シマス、大體出タイト思ツテ居リマスガ、ソレデ今明日出マシテ、明後日一日衆議院ノ豫算總會ノ方ニヤツテ戴ケレバ大變都合ガ宜シイノデアリマス、其ノ後ノ日取ハ明後日アタリニ申上ゲタイト思ヒマス

○子爵大河内輝耕君 今明日デゴザイマス

○橋本辰二郎君 此處ニ頂戴致シマシタ資料デゴザイマスガ、是ハ衆議院ニ提出シタ資料全部デゴザイマセウカ、若シ又缺ケタモノガアレバ取揃ヘテ御提出ヲ願ヒタイト思ヒマス、委員長カラ政府ノ方ニ御請求願ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(櫻内幸雄君) 全部デゴザイマス

○委員長(伯爵林博太郎君) ソレデハドウカ御質問願ヒマス

○子爵大河内輝耕君 チヨット申上ゲマス、私ハ或時期ニ於キマシテ、總理大臣、外務大臣、陸軍大臣、竝ニ内務大臣ニ簡單ナガラ御質問致シタウゴザイマス、御取計ヒテ願ヒマス

○橋本辰二郎君 此ノ浩瀚ナル稅制案ヲ會期ノ切迫シタル今日ニ於キマシテ審議スルト云フコトハ非常ニ無理ガアルト思ヒマス、併シナガラ當貴族院ノ諸公ノ御意中ヲ拜察致シマスノニ、成ルベク政府ニ協力ヲ致シマシテ、無事ニ會期中ニ此ノ案ヲ通過サセ

タイト云フ御考ガアルヤウニ拜察致スノデアリマス、ソレニ付キマシテハ、大臣ガ斷エズ此ノ席ニ御出席ニナルト云フコトガ、最モ議事ノ進行ヲ進メルニ於テ必要ト思ヒマスノデ、先程大河内子爵カラノ御希望モアリマシタガ、今後ハ出來ルダケ御聯合セテ願ヒマシテ、大臣自ラ此ノ席ニ御出席ヲ御願ヒ致シタイト思ヒマス、就キマシテハ私是ヨリ質問ニ入りマス、先ヅ増稅ノ目的ニ付キマシテ御尋ネ致シタイト思ヒマス、過去數年間、年々増稅計畫ハ此ノ議會ニ提案ニナツクデアリマス、此ノ目的ニ關シマシテハ劃然タル御説明ハナイノデアリマス、是ハ一般會計ト特別會計トノ關係モアリマセウシ、又ハ恆久稅若シクハ臨時稅トノ關係モアリマシテ、一概ニ明言ガ出來ナイヤウナ事情モアラウト思ヒマス、然ルニ是迄ノ増稅ハドウモ不思議ニモ其ノ年ニ募集スル公債ノ利拂ト殆ド其ノ目安ヲ等シウ致シテ居リマス、是ハ自然ノ暗合カモ知レマセスケレドモ、何トナク我々ニ於キマシテハ、公債ノ増發ニ依ル利拂ヲ租稅ニ求メルト云フヤウナ思召カノヤウニ受取ラレテ居ッタノデアリマス、其ノ見地ノ下ニ於キマシテハ今度ノ増稅ヲ見マス、今度ノ増稅ハ非常ニ額ガ大キウゴザイマシテ、其ノ利拂ヲ遙カニ超過致シテ居ルノデアリマス、創設ノ稅ガ八億一千六百萬圓ト云フコトデゴザイマシテ、其ノ中三億三百萬圓ヲ地方ニ分與致サレマシテ、國庫ノ純收入ハ五億一千萬圓ト云フコトニナツテ居リマス、是ハ今度ノ増發セラレマスル公債ノ利拂ニ較ベ、マスト云フト、少クトモ三四倍ニ當ルカノヤウニ思ハレマスノデゴザイマスガ、尙大藏大臣ノ御説明ノ一端トシテ新聞紙ニ現レタ所ヲ見

マスルト、當分ノ間ハ増稅ハシタイト云フヤウナコトヲ言明セラレタト云フコトガ掲載サレテ居リマス、ソコデ考ヘマスノニ、大藏大臣ハ今後數年ハ増稅ヲシナクトモ、今後尙増發スル所ノ公債ニ對スル利拂ハ今度ノ増稅ヲ以テ充當スレバ十分デアルト云フコトヲ御考ヘニナツテイヤイマセウカ、若シサウ云フコトデアルトスレバ、是非非常ニ立入ツタ推測ノ如キヤウデ恐レ入リマスガ、言葉ヲ換ヘテ言ヒマス、支那事變ノ結局ニ付テ見透シガ御付キニナツテ居ルト云フヤウニモ察セラレルノデアリマスガ、其ノ邊ニ付キマシテノ御所見ヲ承リタイト思ヒマス

○國務大臣(櫻内幸雄君) 只今橋本委員カラ今回ノ増稅ノ目的ニ付テノ御尋ネデゴザイマスガ、此ノ度ノ増稅ヲ致シマシタル目的ハ、先刻本會議場ニ於キマシテ申上ゲマシタ通り、四大目標ヲ以テ進シ見タイト思ヒマス、即チ負擔ノ均衡ガ第一、又經濟政策ニ順應スルコトガ第二、第三ガ增收並ニ彈力性アル稅制ヲ致シタイト、第四ガ稅制ノ簡易化ヲ圖リタイト、是ガ此ノ度ノ稅制改革ノ主眼タル目的デアリマス、而シテ稅制ト財政トノ關係ニ付キマシテ、ドウ云フ見透シヲ以テ斯様ナ増稅ヲ致シタカト云フ御趣意デアラウト思ヒマス、今御話ノ如ク、從來年々歲々増稅ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、國民ノ中ニハ増稅ヲ以テ今御話ノ如ク、所謂赤字公債ニ對スル利拂、若シクハ償却ニ充テルデハナイカト云フ風ナ考ヲ持ツテ居ル向モアルヤウニ考ヘルノデアリマス、併シ今回ノ増稅ト財政トノ關係ニ付キマシテハ、増發セラレル所ノ赤字公債ノ利拂、之ヲ目標ト致シテ増稅ヲ致シタイト

ハアリマセヌノデ、一言ニ申シマス云フト、今日ノ時局ニ於キマシテ非常ニ龐大ナル國費ガ支出サレツ、アル時代デアリマスルカラ、總テ公債支辨ニ俟ツト云フ事柄ハ、國家ノ財政ノ前途ニ不安ヲ與ヘルノデアリマスルノデ、其ノ國費ノ或部分ヲ國民負擔ニ依ツテ支辨シテ行クト云フ事柄ハ、最モ適當ナル財政上ノヤリ方ダト考ヘマシタコトガ一點、今一點ハ、今御話ノ年々増加スル所ノ國債ニ對シマシテ、其ノ國債ノ利子ノミナラズ、之ヲ償還シテ行ク途ヲ確立シテ行クト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌト存ジマシタノガ第二點、第三點ハ經濟界ニ増稅ノ爲ニ不安ヲ與ヘタリ、或ハ意外ナル衝動ヲ與ヘマシテ、サウシテ其ノ結果、經濟界ニ惡影響ヲ及スト云フヤウナ事柄ガアツテハ、相成ラス、此ノ點ヲ考慮シテ決メタ譯デアリマス、更ニソレガ産業ノ發達ヲ阻害スルト云フガ如キ事柄ガアツテハ、相成ラスト、斯ウ考ヘタノデアリマス、斯様ナル目的ノ下ニ出來得ル限り國民ガ之ニ依ッテ非常ナル迷惑ヲシナイ範圍内ニ於テ、其ノ負擔力ヲ考ヘマシテ、サウシテソレト睨ミ合シテ、此ノ増稅ノ額ト云フモノヲ決定致シタヤウナ譯デアリマス、而シテ現在ノ財政狀態カラ考ヘテ見マス、衆議院ニ於テモ申シマシタノデアリマスガ、此ノ度ノ事變ガ何時濟ムカト云フコトニ付キマシテ財政ノ計畫ノ立テ方ガアルト思ヒマス、然ルニ支那事變ハ最近將ニ成立セムトスル所ノ新中央政府ガ出來マシテモ、ソレデ事變ガ終了致シタ譯デアリナイノデアリマシテ、所謂蔣介石政權ナルモノガ存在致シテ居リマス限リ、日本ノ兵ヲ撤退スルト云フ事柄ハ不可能デアリマス、此ノ點ニ付テモ考ヘナケレバナナイノデア

リマスシ、又新中央政府ガ自ラ支那ノ全部ノ治安ヲ維持シ、而シテ蔣介石政權ヲ壊滅スル力ガ出來マスル事柄ノ見透シガ付キマセスケレバ、容易ニ其ノ撤退モ出來ナイ譯デアリマス、且又日滿支三國ヲ通シタル綜合經濟計畫ヲ確立シテ、東亞ノ新秩序ヲ建設致シマス建前カラ致シマス云フト、此ノ方面カラモ少カラザル所ノ國費ヲ要スルコトハ亦免レヌ所デアリマスノデ、元來カラ申セバ支那事變ノ終了ヲ俟ツテ、サウシテ根本的此ノ財政計畫ヲ立テテ、之ニ伴ッテ増稅ヲ致スベキ筈デアリマスケレドモ、暫クノ間、到底左様ナル見透シガ付キマセヌノデ、已ムラ得ズ今回ノ實行致サウ、斯ウ云フ風ニ決意致シタ譯デアリマス、而シテ此ノ財政ノ見透シト致シマシテハ、當分ノ間現在ノ出シテ居リマス所ノ國費ガ容易ニ減少スルト云フ事柄ヲ斷言致シ兼ネルノデアリマシテ、只今申ス通りノ事情デアリマスノデ、此ノ事變ガ終了ヲ致シマシテ、經濟、財政ノ上ニ於テ安定シタ場合ヲ俟ツコトガ出來ナカッタヤウナ譯デアリマス、ソレデ此ノ増稅ヲ致シマシタ結果、將來増稅ヲコ、數年ノ間ハ致サナイト云フコトヲ申シテ居リマスノハ、此ノ度ノ増稅ト且自然增收ト云フモノモ、從來ノ例ニ依リマス云フト相當見ラレルノデアリマシテ、此ノ兩々相俟ツテ、日本ノ財政計畫ト云フモノヲ立テテ參リマスナラバ、サシタル財政上ノ不安ガナイノデアリマシテ、其ノ見地カラ致シマシテ、先ヅ此ノ程度ノ増稅ナラバ國民ニ於テモ非常ナル苦痛モナイデアラウ、又財政上ニ於テモ此ノ程度ノ増稅ヲ致シマシタ上ニ於テハ、左様ナル此ノ財政ノ基礎ヲ脆弱ナラシムルト云フ如キ事柄ハナ

イト、斯様ニ考ヘマシテ之ヲ決定致シタヤ
ウナ譯デアリマシテ、此ノ増税ノ金額ガ今
御話ノ通り單ニ赤字公債ノ利拂ヒノミナラ
ズ、元本償還ニ對スル所ノ計畫ヲモ立チ得
ル數字ニナツテ居リマス、併シナガラ先刻
來申ス通り年々五十億圓乃至六十億圓内外
ノ公債ガ出來ルト致シマス、ソレニ對應
シタルダケノ計畫ヲ立テナケレバナラスノ
デアリマシテ、其ノ見地カラ致シマシテ、
今回ノ程度ノ増税ハ已ムヲ得ナイグラウト
思ツテ居リマス、此ノ機會ニ於テ一言申上ダ
テ置キマスノハ、是カラ年々五十億、六十
億ト云フ公債ガ殖エテ行ク、此ノ殖エテ行
ク金利ヲ成ル程今年ハ此ノ増税ニ依ツテ餘
地ガ出ルガ、明年、明後年ニナツタ場合ニ
於テハドウナルカト云フ御懸念モアルト思
ヒマスガ、其ノ點ニ付キマシテハ、幸ニシ
テ日本ノ經濟界ガ非常ナル打撃ヲ蒙リマセ
ズ、此ノ經濟界ガ維持シテ行クコトガ出來
マスルナラバ、漸次國運ノ發展ト共ニ、財
界モ發達シテ行クデアリマシテ、從ツテ
相當ナル自然増收ヲ見ルコトガ出來マス
ノデ、是ハ極メテ最近ノ例ニ依ツテ申シマ
ス、十二年度ニ於キマシテモ、約六千五百
萬圓内外ノ増收ヲ見テ居リマス、十三年度
ニハ更ニ一億六千一百萬圓ノ増收ヲ見テ居
リマス、最近、十四年度ニ於キマシテハ二
億五千六百萬圓程ノ自然増收ヲ見テ居ルノ
デアリマス、十五年度ニ於キマシテモ約三
億八千萬圓ハアルノデハナカラウカト想像
致シテ居ルデアリマス、左様ナ譯デアリ
マシテ、今回ノ増税ト兩方相俟ツテ此ノ數
字ヲ基礎トシテ確然タル處ノ前途ノ財政計
畫ヲ確立シテ參リマシテ、民心ヲ安定セシ
メルコトガ出來マスレバ、私ハ此ノ財政上

ニ付キマシテ國民ノ信頼ヲ贏チ得ルコトガ
出來ルト考ヘテ居リマスガ、其ノ計畫ニ付
キマシテハ私此ノ内閣ガ出來マシテマダ日
ガ經テマセヌノデ、今折角調査中デアリマ
スノデ、根本的ノ財政計畫ト云フモノハ、
今暫ク研究ヲ積ンダ上デナケレバ立チマセ
スケレドモ、コ、數年間ノ財政計畫ト致シ
マシテハ、此ノ度ノ増税ニ依リマシテ、之
ヲ經濟界ニ、非常ナ打撃ヲ與ヘナイヤウニ、
經濟界ヲ守リシテ行キマシタナラバ、私ハ
不安ナシニヤツテ行ケル、斯様ニ信ジテ居ル
ヤウナ譯デアリマス

○橋本辰二郎君 只今ノ御答辯ハ政府トシ
テハ當然ノ御答辯デアリマシテ、サウ仰シ
ヤラナケレバナラナイモノト思ヒマス、又
一應ノ筋道モ立ツテ居ルト思フデアリマス
ガ、經濟界ノ調節、財界ニ衝動ヲ與ヘヌヤ
ウニ十分御考慮ニナツタト云フ點ニ付キマ
シテハ、私等多少考ヲ持ツテ居リマスガ、ソ
レハ討論ノ際ニ讓リタイト思ヒマス、ソレ
カラ只今ノ御答辯中自然増收ガ年々遞増シ
テ行クコト云フ御話デアリマシタガ、是ハ十
四年度迄ハ恐ラクサウデアッタラウト思ヒ
マスガ、當年ニ入りマシテハ、時局産業ノ
中ニモ大分行詰ツタモノガアリマス、現ニ機
械工業ノ如キモノハ非常ニ行詰ツテ居リマ
ス又ハ工場ノ設備ハ完成シタニモ拘ラズ、
材料ノ配給ガナイ爲ニ、マルデ開店休業ト
云フ有様ノモノモアリマス、サウシテ殊ニ
此ノ増税ニ依リマシテ詰リ八億以上ノ負擔
ヲ掛ケマスル以上ハ、是迄ノヤウナ比例ヲ
以テ自然増收ガ殖エルト云フ御考ハ少シク
御考慮ヲ要スルノデハナカラウカト私ハ思
フデアリマス、ソレハソレト致シマシテ、
次ニ此ノ度ノ増税ノ目標ニ付キマシテ御尋

ネ致シタイト思ヒマスガ、増税ニ依リマシ
テ稅收入ノ増加ナルモノハ、豫メ其ノ金額
ヲ一定ノ目標ヲ持タレマシテ、サウシテ各
稅種ニ互リマシテ、課稅率ヲ引上グラレタ
ルモノデアリマスルカ、若シクハ一定ノ金
額ノ目標ハ置カズシテ、各稅種ニ互リマシ
テ適當ト認ムル課稅率ヲ按分割當テマシテ、
算出シタルモノデ、自然ニ斯ウ云フ金額ガ
出タモノデアリマスカ、其ノ中ヨリ地方ニ
分與金ヲ幾ラヤリ、其ノ殘ツタモノヲ一般會
計ノ國庫ノ收入ニスルト云フコトデ御計畫
ニナツタデアリマセウカ、其ノ點ヲ伺ヒタ
イト思ヒマス

○國務大臣(櫻内幸雄君) 第一ニ御尋ノア
リマシタノハ、増收ヲ見テ居ルヤウデア
ルガ、此ノ財界ノ現狀ニ於テ増收ヲ見ルコト
ハ間違ヒデハナイカト云フ御話デアリマス、
其ノ御意見ハ私御尤モダト思ヒマス、今日
電力ノ不足デアルトカ、或ハ勞力不足デア
ルトカ、資材ノ不足デアルトカ、或ハ統制經
濟ノ爲ニ、仕事ガ中途半端ニナツテ居ル部分
ガ相當ニアルノデアリマシテ、有ラユル點
カラ見マシテ自然増收ガ從來、十二年度、
十三年度、十四年度ニ見タヤウナ割合ニ増
加致シテ行クカドウカト云フコトハ、是ハ
橋本委員ノ御話ノ通りデアリマス、併シナ
ガラ日本ノ經濟界ハ順次發達シテ行クノデ
アリマシテ、時ニ此ノ自然増收ノ額ガ減少
致ス場合モアルカモ知レマセヌケレドモ、
此ノ經濟財政ノ運営宜シキヲ得レバ、必ズ
ヤ發達シテ行クモノト、斯様ニ考ヘテ居リ
マス、而シテ今日ノ如キ有様ニテ自然増收
ガアレバ或程度ノ自然増收ノ額ハ豫期セラ
ル、ト、斯ウ考ヘテ居リマシテ、此ノ度ノ
増税ト見合セテ、サウシテ大體ニ於テ財政

ノ計畫ガ立ツモノト、斯様ニ考ヘテ居ルヤ
ウナ次第デアリマス、而シテ此ノ度ノ増稅
ガドウ云フ稅種ヲ以テスルコトガ適當デア
ルト考ヘタノデアアルカ、或ハ増收ヲ目標ト
シテ考ヘタノデアアルカト云フ御話デアリマ
スガ、此ノ度ノ稅制改正案ニ於テハ、増稅
ヲ目的ト致シテ居ルノデアリマスルガ故ニ、
大體ノ見當ヲ増稅ヲナシ得ベキモノニ對シ
マシテハ二割トカ三割トカ云フ見當デ増收
ヲ得ル目標ヲ以テ進ンデ居リマス、同時ニ
所謂稅制ノ整理ヲ爲シマシテ、サウシテ簡
易化ヲ圖リ、負擔ノ均衡ヲ圖ツテ參リマシタ
ノデ、自ラ稅ノ種別ニ付キマシテハ、適當
ナリト信ズル稅種ニ付テ、サウシテ其ノ増
收ヲ多少見込ンダ稅ヲ標準トシテ其ノ率ヲ
決メタト斯ウ云フコトニ相成ツテ居リマス、

○橋本辰二郎君 御意見ノアル所ハ承リマ
シタ、次ニ公債ニ付キマシテ御伺ヒ致シタ
イト思ヒマス、新聞デ是ハ見マシタノデゴ
ザイマスガ、大藏大臣ハ、五年後ニハ我が
國ノ公債ハ五百億ニ達スルデアラウト云フ
コトヲ仰セニナツタヤウニ拜見シマシタ、而
シテ斯ウ云フコトヲ仰セニナル以上ハ、此
ノ五百億ニ達スル公債ノ消化モ左程困難ハ
ナイカノヤウニチヨット國民ニ考ヘサセラ
レルヤウニ私ハ感ジタノデアリマスルガ、
私ト致シマシテハ公債ノ募集ニモ自ラ其ノ
限度ガアラウト思ヒマス、之ヲ濫發スルコ
トニ依ツテ、財界ノ攪亂ヲ來スト云フ虞ハ各
國ニ其ノ先例ガアルト思ヒマスノデスガ、
大藏大臣ハ公債ノ募集ハ殆ド無制限ニ爲シ
得ルト云フ御考ヲ持ツテ居ラレマセウカ、或
一部ノ人アタリハ、戰爭ハ金デ出來ルト云
フヤウナ御意見ヲ持ツテ居ラレタ御方モ以
前ニハアツタカノヤウニ承ツテ居リマスガ、

第四部第二〇類 所得稅法改正法律案特別委員會會議事速記録 第一號 昭和十五年三月十八日

マサカ大藏大臣、財政ニ十分通曉堪能ノ方ハサウ云フ御意見デアアルマイカト思ヒマスルガ、成ル程今ノ趨勢デ進ミシタナラバ、我が國ノ公債ハ五年後ニハ五百億圓ニ達スルノデアラウト思ヒマス、其ノ曉ニ我が財政ハドウナルカト云フコトヲ考ヘマスルト、實ニ我々ハ寒心ニ堪ヘナイノデアリマス、樂觀ヲスル人ハ、日本ノ國勢ハ年々増加ヲシテ行ク、從ッテ租稅ノ收入モ増シテ來ル、ソレデ公債ハ多少殖ニタ處ガ、其ノ利拂等ニハ困ラナイ、斯ウ云フ考ヲ御持チニナッテ居ル御方モアルカモ知レマセケレドモ、此ノ世ノ中ノ景氣ト云フモノハ必ず一直線ニズツ上ルモノデアリマセヌ、波狀ヲ描キマシテ、「カーヴ」ヲ描キマシテ、或時ニハ非常ニ好イガ、或時ニハ又其ノ反動ヲ來スト云フコトハ、是ハ過去ニ於ケル所ノ經濟界ノ實勢デアアルデアリマスルガ、私等ハモウ始終ハ悲觀的ノ側ニ立ツ方デアリマシテ、左程前途ヲ樂觀ヲ致シテ居ラナイノデアリマス、ソレデ大藏大臣ハ其ノ場合ニ於キマシテ、ドウ云フ處置ヲ御執リニナルト云フ御考ガアリマセウカ、兎ニ角財政家トシテ五箇年先位ナコトニ對スル御考ハ十分御持チニナッテイラシヤラウト斯ウ思フノデアリマス、私等ト致シマシテハ、若シモ財界ガ逆轉致シマシテ、財政上ノ困難ヲ來サヤウナ場合ニ於キマシテ、五百億ノ公債ヲ發行致シマシタナラバ、其ノ金利ヤラ、又此ノ事變後ニ於キマスル恩給増加、其ノ他ヲ考ヘマスルト云フト、總テノ租稅ハ全部公債ノ利拂ヤ恩給等ニ消費セラレマシテ、文化的施設ヤ、社會的施設等ハ、一般ノ行政費ニスラモ窮屈ヲ感ズルヤウニナラヌカト思フノデアリマスガ、其ノ前途ニ

付キマシテ大藏大臣ノ御所見ヲ承リタイト思ヒマス、デ總テ公債政策ヲ成功セシムルニハ、ソコニ餘剩資本ノ存在ト云フコトガ、是ガ必要條件デアリマス、然ルニ此ノ今日ノ増稅改革案ノ如キモノヲ見マスルト、殆ド國民ニ餘剩ヲ與フルノ餘地ハナイカノヤウニ見ラレルノデアリマス、ノミナラズ御希望ノ生産擴充ヤ、貿易ノ振張等モ到底是ハ期待シ難イヤウニ私ハ考ヘマスノデアリマスガ、兎ニ角其ノ點ハ意見ニ互リマスノデ、公債ノ限度、及五百億ニ達シタ場合ニ於テ、如何ナル處置ヲ爲シテ財政ノ處理ヲ爲スカト云フコトニ付キマシテ、財政家トシテノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○國務大臣(櫻内幸雄君) 公債ガ數年ノ後ニ五百億ニナルデアラウト云フ意見ヲ私ガ申シタヤウナ御話デアリマスガ、衆議院ノ委員會ニ於キマシテ或議員カラ今日ノ公債發行ノ程度カラ考ヘテ見レバ、コ、數年ノ後ニハ五百億圓ニ達シハシナイカト云フ風ナ議論ガゴザイマシタ、私ハ其ノ議員ニ對シテ答ヘマシテ、速記錄ニモ出テ居リマスガ、年々五十億乃至五十億ヲ超シタ金額ノ公債、赤字公債ノ出ルト云フコトハコ、數年免レナイデアラウ、從ッテ只今二百億ト云フ公債ガアルトスレバ勢ヒ四百億内外ニハ四箇年經テバナルト云フ勘定ニナル、從ッテ更ニ年限ガ經テバ五百億ト云フ公債ヲ出スヤウナ事態ニ相成ルカモ分ラス、其ノ點ハ公債ガ左様ナ數字ヲ示スヤウニナルト云フ事柄ニ付テハ、自分ハソレヲ否定シナイト、斯様ニ申シタノデアリマス、又實際ノ問題ト致シマシテ、今後此ノ日本ノ財政ヲ賄ッテ行キマシテ、サウシテ支那事變ガ速カニ終了致シマスレバ兎ニ角デアリマス、又支那

事變ノ終了後ト雖モ東亞ノ新秩序再建ニ付キマシテハ矢張り金ガ要ルノデアリマスルカラシテ、其ノ點ガドレダケノ相違ガ起ッテ來ルカト云フ事柄ハ事實問題デアリマシテ、今直チニ支那事變ガ濟ンダカラ、茲ニ今日ノ臨時事件費ト云フモノガ全部ナクナルト云フコトハ想像シ得ラレナイノデアリマス、勿論或程度ソレガ減少スルコトダケハ間違ヒナイト思フテ居リマス、從ヒマシテ此ノ東亞ノ新秩序再建ト云フ問題ト併セテ考ヘマスル時ニ、ナカノ容易ナコトデアリナイ、而シテ租稅ガドウ云フ風ナ増加ヲ致シテ行クト云フ事柄ハ、是モ亦容易ニ測リ知ルコトガ出來マセヌノデ、勿論、日本ノ財界ガ先刻來申ス通り、發展致シマスレバ、ソレダケ租稅モ殖エテ來ルノデアリマスケレドモ、稅ノ力ニ依ッテ今日ノ如キ事變ヲ構ヘテ居ル時ニ、全部ノ經費ヲ支辨シテ行クコトハ到底出來ナイノデ、結局赤字公債ト云フモノガ五十億圓内外出ルト云フコトハ、コト當分ノ間私ハ免レナイト思フノデアリマス、唯公債ニハ限度ノアルト云フ御話ハ、是ハ全ク其ノ通りデアリマシテ、若シ公債ノ限度ヲ誤リマスレバ、即チ公債ノ消化ガ出來ナイ、公債ノ消化ガ出來ヌ時ニ、日本銀行ヲシテ引受ケシメテ、サウシテ紙幣ノ増發ヲ致シマスレバ、其ノ結果ガ財界ニ如何ナル影響ヲ及スカト云フ事柄ハ、是ハモウ明カニ「ドイト」等ノ前例ニ依ッテ見テモ分ルコトデアリマシテ、此ノ限度ト云フコトニ付キマシテハ十分ナル注意ヲ拂ハナケレバナラスト思フノデアリマス、即チ日本ノ財界ガ發達ヲセズシテ、萎靡沈滞シテ居ル場合ニ、公債ガドンノ増發セラレルト云フコトニナリマスレバ、今御話ノ通りノ結

果ニ相成ラウト思ヒマス、ソレカラ今一ツハ公債ヲ發行シテ、其ノ公債金ニ依ッテ爲ス事柄ガ總テ不生産的ノコトニノミ使用致サレマス場合ニハ、其ノ惡影響ハ早ク參ルノデアリマス、從ヒマシテ此ノ財政ノ計畫ヲ立テテ參リマス上ニ於テハ、ドウシテモ或程度生産擴充ニ對シテ力ヲ入レマシテ、日本ノ産業發達ト云フコトニ頭ヲ置イテ行カナケレバ相成ラヌト考ヘテ居リマス、言葉ヲ約メテ申シマスルナラバ、今回ノ如キ増稅ヲ致シタリ、或ハ公債ヲ發行致シタリ致シマシテ、其ノ資金ガ、所謂日滿支ノ三國ノ綜合經濟計畫確立ノ爲ニ、其ノ中ノ相當ノ金ガ費サレテ行クト致シマシタナラバ、此ノ綜合經濟計畫ノ確立ト相俟ッテ、ソコニ日本ノ經濟界ノ大發展ヲスルト云フ事柄ガ意味セラレルノデアラウト思ヒマス、端的ニ申シマスレバ、昭和十八年ヲ一期トシテ、日滿支ノ三國ノ綜合經濟計畫ヲ立テテ居リマスガ、ソレガ竣功致シマスルナラバ、恐ラクハ鐵デアルトカ、石炭デアルトカ、鹽デアルトカ、棉デアルトカ云フモノニ付キマシテ、日本ガ今日必要トスル所ノ物資ニ付キマシテハ、茲ニ一ツノ安定點ヲ見出スノデアリマシテ、ソレガ日本ノ貿易及産業上ニ及スコトガ極メテ重大ナルモノガアルト思ヒマス、從ヒマシテ是等ノ事業ガ發達致シマシテ、盛ニ相成リマスト云フコトニナリマスレバ、ソコニ又之ニ伴ッテ收入ノ増加ガ參ルノデアリマス、故ニ其ノ點ヲ考慮シテ見マスルト云フト、極端ニ悲觀スルト云フコトハ餘リ當ラナイノデアリマシテ、日本ノ國民ト致シマシテハ、所謂發展の方面ニ向ッテ全力ヲ傾注致シテ行キマスナラバ、多少ノ公債ガ増加致シマシテモ、優ニ之ニ對

了致シマスレバ兎ニ角デアリマス、又支那

了致シマスレバ兎ニ角デアリマス、又支那

了致シマスレバ兎ニ角デアリマス、又支那

シテ對應シテ行クコトガ出來ルト、斯様ニ信ジテ居ルノデアリマス、若シ然ラズシテ不生産の方面ニシテ公債ガ發行セラレテ、而シテ其ノ結果惡性「インフレーション」ヲ起スヤウナコトニナリマスレバ、是ハ私ハ由々シキ大事デアリマスノデ、ドウシテモ經濟界ニ對シマシテ餘程ノ注意ヲ拂ハナケレバナラヌト思フノデゴザイマス、今御話ノ如ク、經濟界ト云フモノハ時ニ波ガアリマシテ、非常ニ盛デアルコトモアル、又ソレト反對ニ經濟界ガ不振ノ場合モアリマス、從ヒマシテ財政上ニ於キマシテモ、或ハ緊縮ヲ唱ヘラレルヤウナ時代ガアリ、或ハ積極ヲ唱ヘラレルヤウナ時代ガアルノデアリマシテ、種々ナル變化ガアリマスガ、其ノ變化ノアル間ニ、堅實ナル歩ミニ依ツテ、一步一歩進んで行クト云フ事柄ガ、日本ノ國民トシテ爲サナケレバナラヌ事柄デアルト思ヒマス、事實ニ付テ申シマス、昭和六年、私ガ一番最初ニ内閣ニ入ツタ時デアリマスガ、日本ニ六十億圓ノ内外債ヲ通ジテ公債ガアリマシタ、其ノ時ニ、ドウモ借金ヲシテ居テハイカヌ、日本ノ國費ハ所謂税金、其ノ他ニ依ツテ負擔ラシナケレバナラヌ、借金シテヤルト云フコトハ間違デアアル、斯ウ云フ見地カラ緊縮政策ヲ執リマシテ、其ノ時ニ六十億圓ヨリハ更ニ一文モ公債ヲ殖サナイ、サウシテ赤字公債ヲ募集セズシテ國ノ財政ヲヤツテ行カウト、斯ウ云フ建前デ計畫シテ進シテ時代ガゴザイマス、然ルニ今日ハ、數十年來明治初ツテ以來カラ昭和六年迄、最近十年以前迄ニ募ル日本ノ國債ト同様ナ國債ヲ一箇年間ニ募ルト云フ風ナ状態ニ變テテ參ツノデアリマス、而モソレニ依ツテ日本ノ經濟界ニドシナ大變動ヲ與ヘタカト考ヘ

テ見マス、幸ニシテ是ガ非常ナ影響ヲ與ヘズニ濟ンデ參ッテ居リマス、之ヲ昨年ノ例ヲ引イテ申シマスナラバ、昨年ハ御承知ノ通り、實ニ國債ニ對シテ、チヨット明確ナ數字デヤアリマセヌガ、昨年ハ五十何億ト云フ公債發行ヲ致シマシテ、其ノ八割九分ト云フモノヲ消化致シテ居リマス、消化ヲ致シテ居リマスノミナラズ、日本ノ財界ガドシナ風ナ狀況デアアルカト申シマス、郵便貯金ハ十一億九千萬圓殖エタ、又銀行ノ預金ハ五十九億圓殖エタ、新タナル事業資金ハ四十二億圓使ハレタ、又事業會計ニ於ケル所ノ社債モ二十二億圓ト云フモノヲ出シタ、斯様ナ風ナ狀況デアリマシテ、サウシテソレガ、資金トシテ貯蓄ニ還ッテ居ル狀況ヲ示シテ居ルノデアリマスガ、大體ニ於テ昨年ハ百億圓ノ貯蓄ノ目標ヲ以テ進んで參リマシタノガ、四月一日カラ昨年一杯ニ於テ七十九億デアリマシタカ貯蓄ガ出來マシテ、明カニ三月三十一日迄ニハ百億ヲ突破スルト云フ風ナ情勢デアリマス、斯様ナ狀況デアリマスノデ、此ノ日本ノ經濟界ノ非常ナ破綻ヲ來スヤウナコトヲセズシテ、適當ニ之ヲ處理シテ參リマシタナラバ、私ハ此ノ前途ニ對シテ左様ニ悲觀ヲスベキモノデハナイ、斯様ニ考ヘテ居リマス、併シナガラ今日經濟界ハ非常ニ動搖シ易イ時代デアリマシテ、若シ此ノ物資政策ノ處置ヲ誤タリ、或ハ經濟界ノ指導方針ヲ誤ツタリ、其ノ他種々憂慮スベキ事柄ガ起ルト云フガ如キコトニナリマシタラ別問題デアリマスガ、然ラザル限リハ、私ハ此ノ前途ニ對シテ不安ヲ持ツテ居ラナイノデアリマス、公債政策ヲ實行致シマス上ニ於テハ、餘剩資本ト云フモノヲ考ヘナケレバナラヌト云フ御話デ

アリマスガ、是ハ誠ニ御尤モノコトデアリマス、此點ニ付キマシテハ、政府ト致シマシテ十分之ヲ考慮致シマシテ、力ヲ注イデ行キタイト思フノデアリマスガ、世間カラ見マスレバ、今回ノ増稅ハ殆ド有ラユルモノヲ取立テ、居ッテ、最早取立テルモノハナイ、餘剩ハマア全然ナイト斯ウ云フ風ニ見ル人ガアリマスケレドモ、私ハ左様ニハ信ジナイノデアリマス、是ハ例ヲ申スト云フト幾ツモ例ガアリマスケレドモ、併シナガラ只今ノ場合ニ於テ左様ナコトヲ申シマス、政府ガ後カラ後カラ増稅ヲスルガ如キ考ヲ持ツテ居ルモノト考ヘラレマスコトハ遺憾ニ存ジマスカラ、此ノ點ニ付キマシテハ差控ヘタイト存ジマスケレドモ、私ハ餘剩ハナイコトハナイト、斯様ニ信ジテ居ルノデアリマス、要ハ所謂國民ガ緊張ヲ致シテ、サウシテ此ノ產業界ノ發達ニ努力スルコトガ出來マスルナラバ、私ハ毫毛心配ナイト思フノデアリマシテ、唯其ノ間ニ於テヤリ方ヲ誤ルガ如キコトガアツテハ相成リマセヌシ、又國民ニ不安ノ觀念ヲ與ヘルヤウナコトガアツテハ相成リマセヌノデ、其ノ點ニ付キマシテハ十分注意ヲ拂ッテ行キタイト、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○橋本辰二郎君 公債ニ對スル御意見ヲ承リマシタガ、サウ致シマスルコト云フト、大藏大臣ハ近來發行スル所ノ公債ハ、生産的ノ意味ヲ持ッテ居ル公債ト御認ニナツテイラシヤルヤウデアリマスガ、所謂日滿支ノ經濟「ブロック」ヲ結成スル所ノ是ハ資金デアアルカノヤウニ承リマシタガ、果シテ左様ナ御考デセウカ
○國務大臣(櫻内幸雄君) 今日發行致シテ居リマスル所ノ公債ノ使途ノ大部分ハ、申ス迄モナク臨時軍事費デアリマス、又國防充實費デアリマス、從ヒマシテ生産方面ニ公債ヲ全部使ッテ居ルト云フ譯デハアリマセヌ、併シナガラ生産方面ニ矢張り常ニ主眼ヲ置キマシテ、サウシテ一面ニ於テ國防充實ニ多クノ費用ヲ使ヒマス同時ニ、一面ニ於テ生産擴充ト云フコトニ對シマシテモ力ヲ注イデ居ルノデアリマシテ、成ル程此ノ金額ヲ分割シテ見マスルコト云フト、國防充實費ニ對シテ一番多ク使ッテ居ルコトハ事實デアリマス、併シナガラ國防充實ニ使ヒマシタ費用ノ少カラザル部分ハ、生産部門ニ撒布セラレルノデアリマシテ、所謂軍需資材ト云フモノハ生産事業界ヲ賑賑ナラシムル所ノ原因ヲ成シテ居ルノデアリマシテ、從ヒマシテ其ノ國防充實費トシテ支拂ヒサレル所ノ費用ノ或部分ハ少クトモ生産部門ニ流レテ行クモノト、斯様ニ考ヘテ居リマス
○橋本辰二郎君 私等ハ公債ト云フモノハ實際ニ代價ヲ拂ハヌ所ノ資本ヲ經濟界ニ與ヘルモノデアツテ、若シ惡イ言葉デ之ヲ申シマスルナラバ、不換紙幣ヲ増發シテ、通貨ノ膨脹ヲ圖ルノト結果ハ同一デハナイカト、斯ウ考ヘルノデアリマスルガ、ソレデ最も此ノ公債ノ増發ニ付テハ細心ナル注意ヲ要スルト思ヒマス、ソレカラマア公債ノ發行條件トシテ御話ニナリマシタ生産公債ト云フコトハ最モ望マシイコトデアリマスルケレドモ、其ノ他幾多ノ必要條件モアリマスルガ、ソレモ巴ムヲ得ヌ次第デアアル時分ニハ忍バナケレバナラヌト思ヒマスケレドモ、公債ヲ無暗ニ殖ヤスト云フコトハ餘程私ハ考ヘ物ダト思ヒマスノデ、將來ニ於キマシテモ公債ノ發行ニ付キマシテハ尙ヨリ以上細心ノ御注意ヲ一ツ御願ヒ致シタイ思ヒマ

ス、次ニ私ハ國民所得ニ付テ御尋ネ致シタ
 イト思ヒマス、大藏大臣ハ何デモ國民所得
 ガ二百五十億ト言ハレタト云フコトヲ聞イ
 タノデゴザイマス、私ハ豫テ一國ノ財政ト
 國民所得ト云フモノハ、是ハ相對的ノモツ
 デアツテ、國民所得ヲ無視シテ財政計畫ト云
 フモノハ立ツモノデハナイト云フ見地ニ立
 ツ者デアリマス、ソレ故ニ私ハ昭和十三年
 ノ春ノ増稅ヲ審議スル時ニ當リマシテ、時
 ノ大藏大臣賀屋氏ニ國民所得ハドノ位アル
 ト考ヘルカト云フコトヲ御尋ネシタノデア
 リマス、處ガ其時ニ百五十億ト云フ御話デ
 アリマス、其ノ數字トシテハ、果シテ是ガ
 正確デアアルカドウカト云フコトハ姑ク措キ
 マシテ、財政家トシテ國民所得ト云フコト
 ヲ頭ニ置イテ、サウシテ財政計畫ヲ立テラ
 レタト云フコトニ付テハ非常ニ愉快ヲ感ジ
 タノデアリマス、處ガ其ノ後僅カ二年カ一
 年半位ノ間ニ國民所得ガ百億ヲ増加シタト
 云フコトハ、ドウモ私等ニ於テハ少シク分
 リ兼ネル點ガアリマス、昭和五年ノ國勢調
 査ニ依リマスレバ、百六億ト云フコトニナッ
 テ居ル、日本ガ開國以來約七十年ニシテ築
 キ上ゲタモノガ百六億、而シテ十三年ニ於
 キマシテ百五十億、是モ僅カ二年ノ間ニ
 於テ、七十年間ニ築キ上ゲタモノト同額ト
 云フコトハチヨット首肯シ難イヤウデアリ
 マスルガ、此ノ國民所得ハ、無論是ハ推定
 デアリマスルガ、此ノ推定ハドウ云フ根據
 ニ基イタモノデアリマセウカ、其ノ點ヲ一
 應伺ヒタイト思ヒマス

味ニ於テハサウ云フ風ナ見方モアルトハ思
 ヒマスルケレドモ、公債ノ點ニ付キマシテハ、
 是ハ其ノ公債發行ノ條件、竝ニ使途等ニ關
 聯致シマシテ、色々ナ見方ガアルト思ヒマ
 スガ、併シナガラ何レニセヨ公債ヲ増發ス
 ルト云フ專柄ハ最モ慎マナケレバナラヌコ
 トデアリマシテ、公債ノ増發ヲセナイヤウ
 ニ致スト云フコトニ付キマシテハ、最大ノ注
 意ト努力ヲ拂ハナケレバナラヌコトハ申ス
 迄モナイコトデアリマス、私共モ出來得ル
 限リ公債ノ増發ヲ少クシヨウト云フコトニ
 付キマシテハ、有ラユル方面カラ努力シテ
 行キタイト考ヘテ居リマス、勿論財政計畫
 フ立テルニ當リマシテモ、公債ヲ多ク出ス
 ト云フコトガ如何ナル影響ヲ與ヘルカト云
 フコトニ付キマシテ相當考慮研究ノ後デナ
 ケレバ之ヲ決定スルコトガ出來ナイト思ヒ
 マス、此ノ點ニ付キマシテハ私ハ深ク意ヲ用
 ヒテ、今後ニ對スル所ノ方策ヲ講ジタイト、
 斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、第二ニ如
 何ナル場合ニ於テモ財政計畫ヲ立テルノニ
 ハ國民ノ所得ヲ基本トシナケレバナラヌ、
 此ノ點モ是ハモウ全然御同感デアリマス、
 而シテ私ガ衆議院ニ於キマシテ二百五十億
 ノ國民所得ガアルト云フコトヲ申シマシタ
 ノハ、主稅局ニ於キマス所ノ調査ヲ基礎ト
 シテ申シタノデアリマス、日本ノ國民ノ所
 得ニ付キマシテノ調査ハ、只今御話ノ如ク
 昭和五年ニ統計ヲ取ツタコトガゴザイマス、
 其ノ統計ノ取り方モ、私共カラ申セバ満足
 ナヤリ方デハアリマセウカ、兎ニ角統計ヲ
 取ツテ居リマス、其ノ結果ガ百六億三千六百
 萬圓ト云フ數字ニナツテ居リマス、而シテ其
 ノ次ニ昭和十年ニ於テ調査ヲ致シタノデア
 リマスガ、ソレハ百四十五億三千二百萬圓

ト云フ數字ガ出テ居リマス、而シテ昭和十
 年以後ハ調査ハ致シテ居リマセウカ、從テ統
 計ノ表ニ於テ正確ナル數字ハ出テ居ラナイ
 ノデアリマス、ソレデソレカラ後ノ今日ノ
 國民所得ト云フモノハ一種ノ豫想ニ過ギマ
 セウカ、豫想ニ過ギマセウカ、此ノ問題ニ付
 キマシテ大藏省ニ於テ調べテ居リマスノ
 ハ、先ヅ大體ニ於テ此ノ三種所得稅ト云
 フモノヲ基準トシテ調査ヲ致シテ居リマス、
 即チ第三種所得ト云フモノト睨ミ合セマシ
 テ昭和十年度ノ第三種所得ト云フモノト、
 其ノ以後ノ第三種所得ト云フモノトノ増加
 率ヲ見較ベテ之ニ掛合シテ行ッテ居ルノ
 デアリマス、勿論其ノ以外ニ於キマシテ他
 ノ稅、其ノ他ヲモ考ヘマスケレドモ、主タ
 ルモノハ第三種所得ト云フモノニ對シマシ
 テ主眼ヲ置イテ考ヘテ居ルノデアリマス、
 ソレデ大體ニ於テ申シマスト云フト、昭和
 十年度ガ百四十五億萬圓、其ノ翌年ガ百六
 十一億萬圓、其ノ翌年ノ昭和十二年ガ百九
 十四億萬圓、昭和十三年度ガ二百三十二億
 萬圓、昭和十四年度ガ二百五十五億萬圓ト
 云フ所謂豫想ガ立ツノデアリマス、其ノ豫
 想ノ立テ方ガ良イトカ惡イトカ云フヤウナ
 事柄ハ御議論モアリマセウト思ヒマスケレ
 ドモ、先ヅ大體ニ於テ斯様ナル數字ニナツテ
 居ルト云フコトヲ私共ハ信ズルノデアリマ
 ス、而シテ内閣統計局ニ於キマシテモ寧ロ
 是ハ最小限度其ノ位アルデハナカラウカト
 云フコトヲ統計局ノ長官モ衆議院ノ委員會
 ニ於テ明言シテ居ル位デアリマシテ、恐ラ
 ク是ハ大ナル相違ハナイト斯様ニ考ヘマス、
 寧ロ私ハ今日ノ時代カラ考ヘテ見マスト云
 フト、是ガ是ヨリ或ハ多クナイカト斯ウ思ッ
 テ居リマス、ソレガ御話ノ如ク、非常ナ進歩、

増加デハナイカト云フ御考モアリマセウカ、
 是ハ國力ガ發展ヲ致シマス場合ニ於テ、非
 常ナ擴大ヲ致ジマス同時ニ、多少ハ物ノ
 價格、値段ト云フモノノ騰ツテ居ル點モ含
 マレテ居ルデヤナカラウカト考ヘテ居ルノ
 デアリマス、先ヅ其ノ程度ガ日本ノ今
 日ノ國民所得デアラウト斯ウ云フ見地ニ
 立ッテ色々ナ計畫ヲ立テテ居ル譯デアリマ
 ス

○橋本辰二郎君 凡ソ租稅ハ國民所得ノ何
 割迄ハ徵收シテ宜イト云フ思召シデアリマ
 セウカ、例ヘバ國民所得ノ中ニハ國民ノ生
 活費モ引カナケレバナラヌ、又産業擴充ニ要ス
 ル資本モ引カナケレバナラヌト思フ、又
 今日ノ如キハ公債増發ノ場合ニハ公債ニ應
 募スル所ノ餘剩資金モ控除シナケレバナラ
 ヌト云フヤウニ考ヘルノデアリマスルガ、
 大凡ドノ位迄ハ取ツテモ差支ナイト云フヤ
 ウナ御考デアリマセウカ

○國務大臣(櫻内幸雄君) 其ノ問題ハ非常
 ニムツカシイ問題デアリマスガ、ドノ位
 ナ、何割位ヲ稅ニ取ツテ影響ハナイカト云
 フコトニ付キマシテハ、是ハ種々ナル議論
 ノ立テ方ガアルト思ヒマス、アルト思ヒマ
 スガ、之ヲ世界各國ノ稅ニ付テ考ヘテ見マ
 スト、大體見當ガ付クデハナカラウカト考
 ヘテ居リマス、今「イギリス」、「アメリカ」
 「ドイツ」、「フランス」等ニ付テ考ヘテ見マ
 スト、最近ノ統計デハデゴザイマセウカケレ
 ドモ、先ヅ國稅ノミニ付テ考ヘテ見マスト、
 新シイノガアリマスカラ千九百三十八
 年ノ調ニ依ツテ申上ゲマスト、千九百三十八
 年ノモノノ合計ハ「アメリカ」ガ國民所得ニ
 對シテ二二「パーセント」税金ヲ取ツテ居リ

○國務大臣(櫻内幸雄君) 第一點ノ御話ハ、
 公債ノ増發ハ不換紙幣ヲ出スノト同一ナモ
 ノデアルカラ、是ハ餘程注意シナケレバナ
 ラスト云フコトデアルト思ヒマスガ、或意

マス英國ハ二一「パーセント」取ッテ居リマス
「フランス」ガ二三「パーセント」取ッテ居リマ
ス、「ドイツ」ガ二六「パーセント」デ日本ハ
二三「パーセント」取ッテ居ルノデアリマス、此
ノ割合カラ申セバ今日日本ノ税ノ負擔ハ此
ノ四大國ニ對シマシテ一番少イ割合ニナッテ
居リマシテ、「ドイツ」ノ約半額、「二六」對スル
一三ト云フ風ナ割合ニナッテ居ルノデアリマス、
併シ國情ガ異リマスカラ必ズシモ英米佛獨ノ
例ニ依ッテ其ノ例迄日本ノ國民負擔力ガア
ルト云フ風ニ解釋スルコトハ誤ッテ居リマ
スカラ、一概ニハ論ズルコトガ出來マセス
ケレドモ兎ニ角外國ニ於テハ斯様ナル情勢
ニアルノデアリマス、勿論國力發展ノ最中
ニ於キマシテハ、先刻御話ノ通り幾ラカ餘
剩力ヲ置ク必要ガアリマスノデ、出來得ル
限りハ低イ所ニ於テ税率ヲ決メナケレバ
ナラヌト考ヘマスケレドモ、先ツ今日トシ
テ今回ノ増稅程度ニ於テ日本ノ國力ト比較
シテ大ナル無理ハナイモノト斯様ニ考ヘテ
居ルノデアリマス

○橋本辰二郎君 「ドイツ」ノ半分ヨリ比較
上日本ノ増稅ガナッテ居ナイト云フコトハ
私モ左様ニ思ヒマス、併シナガラ「ドイツ」
ノ國民所得ハ六百七十億「マーク」ト云フコ
トデアリマス、サウシテ租稅ハ、百八十五
億ト云フコトデアリマス、是デ見マスルト
四百八十五億「マーク」殘ッテ居ルト云フコ
トニナリマス、日本デ見マスルト二百五十
億ノ中ニ、三十五億取リマス二百十五億
ダケ殘ルト云フコトニナリマシテ、國民一
人當リノ國稅ヲ引イタ殘リノモノヲ一人當
リニ割當テマス、其ノ懸隔ガ甚シイモノ
ガアルノデアリマス、ソレデ必ズシモ國民
所得ト租稅トノ負擔ノ比例ハ其ノ國民ノ擔
稅力ヲ現スニハ私ハ足りナイト斯ウ思フノ
デアリマス、ソレデ大藏大臣ハ租稅政策ニ
付テハ國民所得ヲ十分見ナケレバナラヌト
云フコトハ、別ニ御異議ハナイヤウデアリ
マスガ、此ノ外ノ國ノ、即チ比例ヲ以テマ
シテ我が國ニ臨ムト云フノハ、詰リ何ト申
シマスカ、「スケール」ガ非常ニ違ヒマス、
斯ウ思フノデアリマシテ、一概ニ之ニノミ
依リマシテ租稅政策ヲ御定メニナルコトハ
非常ニ危クハナイカト思ヒマスガ、如何デ
ゴザイマスカ

○國務大臣(櫻内幸雄君) 御意見ト致シマ
シテハ御尤モノ點モアリマスガ、同時ニ日
本ノ生活費ト「ドイツ」、「イギリス」、「フ
ランス」ノ生活費ト比ベテ考慮スル必要ガ
アルト思ヒマス、即チ向フノ生活費ハ日本
ノ生活費ノソレニ比ベテ相當高イモノガア
ルト思ヒマス、之ヲモ考ヘテ見ナケレバナ
ラヌト思ヒマス、サウシテ一人當リニ付テ
千九百三十八年ニ付テ見マスルト、日本ノ
十「ドル」ニ對シテ「イタリー」ガ三十「ドル」
トナッテ居リマス、殊ニ「ドイツ」ノ如キハ、
百九「ドル」ト云フコトニナッテ居リマス、
「フランス」ハ五十四「ドル」、「イギリス」
ハ、百七「ドル」、「アメリカ」ハ矢張り百七
「ドル」斯ウ云フ風デアリマシテ、此ノ一人
當リカラ申シマスルト云フト、先刻申シマ
シタ割合ヨリ更ニ低クナッテ居リマス、ソレ
カラ生活費ノ割合モ、是モ今調査ハ手許ニ
アリマセヌガ、「アメリカ」ノ如キハ日本ノ
數倍ト云フヤウナ生活費ニナッテ居ルト心
得テ居リマス、從ヒマシテ是等ノ點カラ考
ヘテ見マスルト云フト、今日ノ日本國民ノ
租稅負擔額ガ、サウ私ハ不當ナモノデア
ルトハ考ヘラレヌト思フノデアリマス

○橋本辰二郎君 只今生活費ノ御話ガ出マ
シタガ、日本人ノ最小限ノ生活費デスネ、
「ミニマム・ライヴィング・コスト」ト申シマ
スカ、ソレハドノ位ニ押ヘテイラシヤイマ
スカ

○國務大臣(櫻内幸雄君) 此ノ點ニ付キマ
シテハ、是ハ實ハ厚生省ニ於テ調査ヲ致シ
テ居ルノデアリマスガ、マダ的確ナ數字ガ
出テ居ラヌヤウデアリマス、併シナガラ日
本ノ國民所得ヲ日本國民ノ全體ノ數デ割ッ
テ見マシテ、サウシテソレヲ現在ノ日本
ノ國情ニ照シ合セテ考ヘルヨリ外ナイト思
ヒマスガ、只今其ノ問題ニ付キマシテハ、
詳細ナル調査ヲ致シテ居リマシテ、マダ出
來上ッテハ居ラヌヤウデアリマスガ、其ノ程
度ヲドウ云フ風ニ見ルカト云フコトニ付キ
マシテハ、其ノ各階層ニ依ッテ違フノデアリ
マシテ、或ハ勞働者階級デアルトカ、或ハ
勤勞者階級デアルトカ、或ハ資本者ノ階級
デアルトカト云フコトデ、種々相違ガアル
ト考ヘテ居リマス、從ヒマシテソレ等ノ階
級ニ於ケル所ノ生活費ハ、其ノ所得ヲ現在
ノ人口數デ割ッテ見レバ凡ソ出ルノデアリ
マスガ、今手許ニ資料ガゴザイマセヌシ、
又記憶モ致シテ居リマセヌノデ、若シ必要
デアリマスレバ、調査シテ差上ゲタイト思
ヒマス

○橋本辰二郎君 其ノ資料ヲ頂戴致シタイ
モノト思ヒマス、併シナガラデスネ、本稅
法ニ於キマシテ家族ノ扶養費ト致シマシテ
百五十圓ヲ控除スルト云フコトニナッテ居
リマス、是ハ百五十圓デアリマセヌデ、之
ヲ稅ニ換算致シマシテ十二圓控除スルトカ
ト云フコトニナッテ居リマスガ、此ノ百五十
圓ト云フ所ヲ御押ヘニナッテ居ル所ヲ見レ
バ、日本ノ下層階級ニ於テハデスネ、百五
十圓一箇年ノ生計ヲ押ヘルコトガ出來ル
ト、斯ウ云フ御見込ノ上デ此ノ法案ヲ出サ
レタモノト思フノデアリマスガ、私等ハマ
ア大雜把ニ押ヘマシテ一日五十錢要ル、月
二十五圓、年二百八十圓、之ヲ七千幾百萬
ニ掛ケマスルト、約百二十億位ノ生計費ハ要
ルダラウト思ヒマス、假ニ二百五十億ノ茲
ニ國民所得ガアリト致シマシテ、此ノ中カ
ラ租稅ヲ四十五億圓引キマスルト、殘ル所
ハ二百五億、此ノ中カラ生計費ノ百二十億
引キマスルト、八十五億ヨリ殘ラナイ、此
ノ中カラ公債ヲ五十億引キマスルト云フト、三
十五億ヨリ殘ラナイ、是ガ詰リ上層階級ノ
文化費用、又ハ娛樂費用若シクハ生産擴充
ト、斯ウ云フモノニ用ヒルコトニナリハシ
ナイカト思ヒマス、其ノ外色々マダ引ケル
モノガアリマシテ、今日ノ此ノ租稅及ビ公
債ノ狀況ヲ以テ進ミマシタナラバ、此ノ先
益、生産擴充ナシゾニ振當テマスル金額ハ餘
程節減シナケレバナラヌカト、斯ウ云フ考
ヲ持ッテ居リマスガ、大藏大臣ハ如何御考ニ
ナリマスカ

○國務大臣(櫻内幸雄君) 今回ノ扶養家族
ノ免稅點ノ百五十圓ニハヲ掛ケタ十二圓ト
云フモノハ、生活ノ最小限度ヲ意味シテ、
其ノ生活費ト云フモノヲ基準トシテ設ケタ
モノデハナイノデアリマシテ、要スルニ負
擔緩和ノ爲ニ從來ノ率ヲ上ゲタ、斯ウ云フ
程度ニ止ッテ居リマシテ、之ガ生活費ノ基準
デアルト云フヤウナ見地カラ、左様ナ扶養
家族ノ控除率ヲ決メタモノデハナイノデア
リマス、ソレカラ今ノ御話ハ、國民所得ノ
中カラ生活費ヲ引イテ、殘ッタモノカラ稅
金ヲ引イテ、其ノ稅金ヲ引イタ殘リノモノ

ニ公債ヲ多ク買ハセルト云フヤウナ御話デアリマスガ、是ハ私個人ノ意見デアリマスガ、私等トシテハ左様ニ考ヘテ居リマセス、即チ國民生活ニ用フル金ト云フモノハ、矢張り家賃ヲ拂ヒ或ハ食費ヲ拂ヒマス、此ノ金ハ又其次ノ人ニ廻ッテ又働キテ致スノデアツテ、グル／＼廻リマスルカラ、其處ニ所謂金融、財政ノ妙味ガアルノデアリマシテ、一概ニ國民所得ガ是ダケアルカラ、其ノ所得ノ中カラ是ガ斯ウ云フ風ニ割當テ、是ガ斯ウ云フ風ニ割當テ云フ風ニハ私ハ考ヘラレナイト思ヒマス、若シ左様ナル風ニ考ヘマスルト云フト、ドウシテモ要スルニ今日ノ二百五十億ノ中カラ百億貯蓄ガ出來ル、百億貯蓄ガ出來ルト云フト、アト百五十億、此ノ百五十億殘リタモノガドウナルトカスウナルトカト云フ勘定ニナリマスガ、私ハ今日ノ實生活カラ考ヘマスト云フト、是ハ始終グル／＼廻リ勘定ニナリマスノデ、其ノ點ヲモ考慮致シテ考ヘナケレバナラスノデアリマシテ、一概ニ今御話ノ如キ、橋本サシノ御意見バカリニハ行キマスマイカト、斯様ニ考ヘテ居リマス、是ハマダ私ハ十分ナル調査ヲ致シテ居リマセヌカラ、何トモ申上ゲ兼ネマスケレドモ、此ノ經濟界ノ實情ノ運營其ノモノハ非常ニ循環性ヲ持ツモノデアツテ、其ノ循環性ト云フコトニ付キマシテモ相當考慮ヲ拂ハナケレバ、之ニ對シテハ斷案ヲ下シ得ナイモノデハナカラウカト、左様ニ考ヘテ居リマス

マス、詰リ色々理窟ハアリマスケレドモ、マア主タル目的ハ増税ニ依ッテ豫定ノ收入ヲ得ヨウト云フコトト見テ差支ナイト思ヒマス、ソレデ今日ノ場合ニ於キマシテ、固ヨリ此ノ戰費ノ不足トカ、公債ノ利拂ノ財源ニ充テル爲ニ増税ト云フコトハ、是ハモウ誰モ認メララウト思ヒマス、併シナガラ租税制度ヲ拵ヘルノニハ、單ニ増收ノミニ重キヲ置クベキモノデハナイ、其ノ増收ヨリモ尙一層進シテ必要ナル條件ガアルト思ヒマス、ソレハ詰リ税源ノ培養デアルト思ヒマス、即チ税源ヲ培養シテ、自然ニ國民ノ所得ヲ増加セシメ、是ヨリ産ミ出ス所ノ所得ノ上ニ、課税ヲ以テ國庫ノ増收ノ年々遞増スル、此ノヤリ方デナケレバイケナイト、斯ウ思フノデアリマス、處ガ多年租税ニ關係シテ居ル方々ハ相當ナル御考モアラウト思ヒマスケレドモ、ツイ自己ノ職業意識ニ立タレマシテ、増收ニノミ熱中スルノ傾キガ、是ハ絶無トハ言ヘナイト思ヒマス、ソレデ今回ノ増税ニ付キマシテ四ツノ目的ト云フコトデアリマシテ、成ル程表面カラ見マスルト云フト、サウ云フ目的モ確カニ認メラレルノデアリマスケレドモ、何レニ致シマシテモ税源ノ涵養ト云フコトガ一番重キヲ成サナケレバナラスカト私ハ思ヒマス、然ルニ此ノ税制案ニ於キマシテ、此ノ税源ヲ培養シテ自然ニ國民ノ所得ヲ増加セシムルト云フヤウナ點ガ、何分不十分ノヤウニアリマスガ、何カ之ニ付キマシテ斯ウ云フ事柄ガアルト云フコトヲ、列擧シテ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(櫻内幸雄君) 税源培養ト云フ事柄ノ必要ナコトハ、是ハ固ヨリ御説ノ通りデアリマス、此ノ點ニ付テハ有ラユル角度カラ、之ニ對シテ力ヲ致サナケレバナラスコトハ勿論デゴザイマス、而シテ此ノ税源ヲ培養シテ其ノモノノ見地カラ、増税ヲ致ス場合ニ此ノ培養ト云フコトニ對シテノ力ヲ何處ニ注イダカト、斯ウ云フコトデアリマスガ、此ノ度ノ税制改正ノ目的ノ第二項ニ、經濟政策ニ即應スルト云フコトヲ申シテ居リマス、即チ此ノ條項ニ依リマシテ從來ノ、例ヘテ云ヘバ會社ノ留保所得等ニ付キマシテノ課税ニ付キマシテハ、今回ハ非常ナル緩和規定ヲ置キマシタ、又日本ノ時局ニ必要ナル事業其ノ他ノ必要ナル仕事ニ付キマシテハ、或場合ニ於テハ税額ヲ減ジ、或場合ハ開業勿々ノ場合ニ於テハ税ヲ取ラヌト云フコトニナリマシタ、即チ重要礦物デアルトカ、重要事業ニ對シテハ異ナル税率ニ依ッテ取りマストカ、サウ云フ事柄ニ付キマシテ、稅其ノモノトシテハ留意ヲシテ居ル次第デアリマス、又從來ハ同族會社デアレバ全部、株券保有會社ト同ジヤウナ稅ヲ取ツテ居リマシタケレドモ、ソレモ事業ヲ爲ス場合ニ於キマシテハ、其ノ稅ニ對シマシテ相當ノ緩和ヲ致スヤウナ方策ヲ執ッテ參ッテ居ルノデアリマス、詰リ一面カラ申セバ、産業ノ發達ニ對シテ重要ナルモノニ對シマシテハ特別ナ取扱ヲ致シテ居ルト云フ事柄ガ、稅ノ上カラ見タ今御話ノ税源培養ニナツテ居リマス、其ノ以外ハ矢張り政策ト致シマシテ、所謂産業擴充計畫ニ力ヲ他ノ方面カラ或ハ助成トカ、或ハソレニ對スル所ノ援助ヲ致ストカ、種々難多ナ方法ヲ講ジテ居ルヤウナ譯デアリマシテ、稅ノ上カラハ今回ハ申ス迄モナク増收ヲ矢張り一ツノ目的ト致シテ居ルノデアリマスカラ、殊更ニ減稅ト云フ風ナ事柄ハゴザイマセヌケレド

モ、只今申スヤウナ方策ハ執ッテ居ルノデゴザイマス

○橋本辰二郎君 私ハマダ澤山ゴザイマスケレドモ、大分一人ヲ獨占致シマシタノデ此ノ程度ニシテ、他日又發言ノ御許可ヲ御願ヒ致シタイ

○委員長(伯爵林博太郎君) ドウゾ御質問ガアリマスナラバ、此ノ際願ヒマス

○子爵大河内輝耕君 私ノハ實ハ總論デヤナイノデゴザイマスガ、大臣ノ御出席ノ時間モゴザイマスノデ、チョット伺ッテモ宜シウゴザイマスカ

○委員長(伯爵林博太郎君) 總論ニ關係ガアルコトヲ成ルベク願ヒタイ

○子爵大河内輝耕君 ソレデハ、大藏大臣デナケレバ伺ヘナイ點ガ二三點ゴザイマスカラ、其ノ機會ヲ御與ヘ願ヒマス

○委員長(伯爵林博太郎君) 若シ御質問ガゴザイマセヌケレバ、或ハ今日ハ此ノ邊ニ止メテ置キマシテ……併シドウカ皆サンカラ資料ノ請求ガアルガラウト思ヒマスガ、ソレハ只今御願ヒニナル方ガ當局ニ於テハ大變便宜ダラウ、質問ガアレバ今御願ヒシマスガ、ナケレバ一ツ資料ノ御請求ノ必要ナ御方ハドウゾ願ヒマス

○子爵大河内輝耕君 チョット速記ヲ止メテ載キタイ

○委員長(伯爵林博太郎君) 速記ヲ止メマス

(速記中止)

○委員長(伯爵林博太郎君) 速記ヲ附ケマス

○子爵大河内輝耕君 私二三點伺ヒタイノデスガ、大藏大臣ニ伺フノハ二三點デ宜シイ、國費ト地方費ノ區分ヲサレタノハ誠ニ能ク分ルノデスガ、從來地方費ノ負擔ヲ甚ダ

明瞭ナラザル方法ヲ以テ殖サレル場合ガアル、法律デ殖サレルト云フコトナラバ是ハ結構デスガ、サウデモナイノニ委任事務ヲ押付ケルト云フコトガ能ク行ハレル、甚ダシキニ至ツテハ、ソレヲ内務省ガ知ラズニ居タナント云フコトガアル、デ私ハ斯ウ云フ風ニ考ヘル、委任事務ヲオヤリニナツタ時ニハ、ソレニ對スル財源ヲオヤリニナルノガ宜イト思フ、若シモドウシテモソレガ出來ナイト云フノナラバ、地方費ノ負擔増加、要スルニ歲計ノ増加ニ依ツテ地方費ノ負擔増加ガドレダケアルカト云フコトヲ、豫算提出ト同時ニ明瞭ニシテ戴キタイ、何時モ斯ウヤツテ十五年度ヤ十四年度ノ豫算ヲ協贊シマスケレドモ、之ニ依ツテ地方費ガ幾ラ殖エテ居ルノガ分ラナイ、サウ云フヤウナ状態デ行キマス、地方財政ヲ何遍御整理ニナツタツテ駄目デス、又々戶數割ヲモウ一遍復活シテ來ナケレバ出來ナイコトナル、地方ハ知ラナイノニ、構ハズ押付ケルノデスカラ、是ハドウシテモ戶數割見タヤウナモノニ依ルヨリ外仕方ガナクナル、今迄ノ地方財政ガウマク行カクナツテ、大藏大臣ガ、戶數割ハ利益ヨリモ害ノ方ガ殖エテ來タト仰シタルノハ、原因ハ其處ニアル、サウ云フコトニ付テハ大藏大臣ノ御考ハ如何デスカ、詰リ第一點トシテハ、委任事務ヲヤツタ時ハ財源ヲヤル、若シヤレナイモノトスレバ、ハツキリ豫算提出ト同時ニ地方費ノ負擔ト云フモノヲ明カニシテ、サウシテ參考書ノ形式デモ如何ナル形式デモ宜イカラ、ハツキリ明カニシテ、又ソレニ對スル財源モ明瞭ニスルト云フダケノ手間ヲシテ戴キタイ、其ノ二ツノ點ヲ伺ヒタイノデス

○國務大臣(櫻内幸雄著) 御話ノ委任事務ガ非常ニ殖エテ參ツテ居リマス、從ツテ委任事務ガ殖エタコトニ對シマシテ、相當ナ費用ヲ所謂地方ニ分與スルト云フ事柄モ一ツノ方法デゴザイマスガ、元來地方ノ町村其ノ他ニ於キマシテハ、サウ云フ事務ヲ取扱フノガ本來ノ使命ニ於テ出來上ツテ居ルノデアリマス、同時ニ此ノ地方ノ事務ト、ソレカラ中央ノ事務トヲ區分スルト云フ事柄モ非常ニ困難デアリマス、從ヒマシテソレヲハツキリ致シマシタルト云フ事柄ハ、可ナリ困難デゴザイマシテ、御趣旨ノアル所ハ全ク私共モサウ云フ風ナヤリ方ガ宜イノデハナイカト云フ風ニハ考ヘテ居リマスケレドモ、只今ノ處、ソレヲハツキリスルト云フ事柄ガムツカシイノデハナカラウカト思ツテ居リマス、併シ今ノ此ノ地方ノ財政ヲキチント決メテ分ルヤウニスルト、斯ウ云フ事柄ニ付キマシテハ、是ハ内務省ガ監督ヲ十分ニ致シテ居リマシテ、一々地方財政ニ對シテモ許可ヲ致シタリ、又監督ノ検査モ致スノデアリマシテ、ソレハ相當ノ間ニ連絡ガ執レルト思ツテ居リマスガ、今回又分與稅ノ問題ガ起リマシテ、キチント茲ニ國トノ關係ガ出來マスカラ、サウ云フ風ナ御趣旨ノ點ニ付キマシテハ適當ナ方法ヲ講ジテ、國ニ於テ大體ノコトガ分リ得ルヤウナ途ヲ講ジタイト考ヘテ居リマスケレドモ、只今ノ處具體的ノ案ハ持ツテ居リマセヌノデ、其ノ點ノ具體的ノコトニ付キマシテハ、別ノ機會ニ於テ御答ヲサシテ戴キタイト思ヒマス

○子爵大河内輝耕君 此ノ點ハ年來ノ問題デゴザイマシテ、ナカクウマク行キマセヌノデ、丁度斯ウ云フ風ニ御整理ニナツタ機會ニ是非ヤツテ戴キマセヌト、又元ノ通りヲ繰返サヤウナコトニナリマスカラ、サウ願ヒマス、ソレカラ次ニ伺ヒタイノハ、法人ノ留保所得デスガ、此ノ留保所得ニ付テハ、或投資ヲシタ場合ニハ恩典ガアル、ソレハ承知シテ居リマスガ、普通ニ留保シタ場合ハ恩典ガナイヤウニ思ヒマスガ、今日ノヤウニ利益ガ又非常ニ殖エタ、政府ガ金ヲ澤山使フカラ、ソレ殖エタノデスカラ、ソレハ臨時利得稅モアレバ、配當利子稅、色色ナモノガアリマスケレドモ、併シ此ノ留保ト云フモノハ、非常ニ獎勵サレテ宜カラウト思フ、留保シタモノニ對シテハ、個人ノ方ハ少シムツカシイカモ知レマセスケレドモ、セメテ法人ダケデモ宜イカラ、モウ少シ稅率ヲ輕減サレルト云フコトガ、財界ノ將來カラ見テ必要デヤナイカ、現ニ歐洲戰爭ノ時ハアンナニ儲ツタノガ、歐洲戰爭ガ濟ムト、ア、云フ風ニバタク倒レテシマフ、今度ハモウ規模ガ同一デアリマセヌガ、條件ガ若シ同一ダトスルト、モツトヒドイト見ナケレバナラス、其ノ點ニ付テ御考ハアリマスマイカ

○國務大臣(櫻内幸雄著) 御尤ノ御尋デアリマスガ、今回ノ案デハ、此ノ留保所得ニ付キマシテハ、生産擴充ニ使フ場合、若シクハ國債ヲ保有スルト云フ場合ニハ、特ニソレヲ輕減シテ居ルヤウナ譯デアリマス、此ノ留保所得ハ、御話ノ通り事業ノ基礎ヲ固ク致シマス同時ニ、其ノ留保所得ヲ生産擴充ニ使ヒマス云フト、ソレダケ矢張り會社ノ基礎ヲ固クシテ、同時ニ此ノ事業界ニ貢獻スルノデアリマスノデ、斯様ナル取扱ヲ致シタノデアリマスガ、更ニ出來ルダケノコトヲ考ヘテ見タイト思ヒマスケレドモ、今日ノ場合デハ今申上ゲタ程度ニ止メテ置ク譯デアリマス

○子爵大河内輝耕君 尙此ノ點ハ能ク御考ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ次ハ相續稅ノコトデアリマスガ、是ハ毎度問題ニナル通り、日本ノ家族制度カラ云ヘバ、相容レナイト云ツテモヒドイデスガ、外國ト同ジニハ見ラレナイ稅ナンデス、ソレデ西洋ノヤウナ個人主義ノ國デハ、人間ガ生レテ裸一貫デ出テ參ツテモ、社會ニ通ツテ行キマスケレドモ、日本ニハ家族制度ト云フモノガアツテ、是ガ惡イト云フノデアリマセヌガ、ナカク西洋ノヤウニ自由ニ動ケナイ、家族制度ト云フモノヲ脊負ツテ人間ガ歩カナケレバナラス、サウ云フヤウナ始末デアリマスノデ、扶養義務者ノ數ナドデ、ソレハ控除シテハアリマセウケレドモ、日本ノ戶主ト云フモノハ、一體個人ノ存在ガナイノデス、家ノ財産ノ管理人ナンデス、家ト云フモノガ主體デアツテ、サウシテ戶主ト云フモノハ管理シテ居ルノデス、權利カラ云ヘバ戶主ノ財産デスガ、事實ハ家族ト共同ニナツテ居ルト云ツテモ宜イ位ナンデス、寧ロ戶主ハ月給ヲ貰ツテ居ルト云フヤウナ形デ居ルト見テモ宜イ位ナンデ、サウ云フ譯デスカラ、ナカク之ヲ西洋並ニ、相續シタカラ物ヲ貰ツタノダト云フ風ニ考ヘルヨリモ、相續シタト云フコトハ、管理者ノ交替ト見ルノガ當然ダト思ヒマス、サウスルト茲ニ家ヲ主トシテノ財産ト云フモノハドウシテモナクチャナラナイ、ソレデサウ云フ風ニ見テ來ルト、幾ラ位ノ所ガ宜イカト云フト、今ノヤリ方デハ古イ家ト云フモノハ段々潰レテシマフ、サウシテ新シイ家バカリ出來ル、其ノ新陳代謝ハ無論結構デス、新陳代謝ハ無論結構デ、又サウナケレバナ

ラナイコトデアリマスケレドモ、又一方カラ考ヘルト、新シイノバカリニナツテシマフト云フノモ、是モ亦宜クナイ、今ノ古イモノハマルデ潰レル一方デ、働クコトモドウスルコトモ出來ナイ實情ナラズ、サウシテ一番ソレデヤ何處ガ社會ノ中樞ニナルカト云フト、先ヅ中流家庭デ資産十萬圓内外ト云フヤウナ所ガ、是ガ社會ノ基礎ダラウト思フ、ソレデモ將來ノマア問題ニナリマスケレドモ、相續稅ノ重イコトハハ已ムヲ得ナイコトト思フ、重イコトハ已ムヲ得ナイト思ヒマスガ、先ヅ十萬圓ガ宜イカ十五萬圓ガ宜イカ、ソコイラハ分リマセヌガ、相當ノ家産ト云フモノヲ認メテ、ソレダケハ相續稅ノ範圍外ニ置クト云フヤウナコトヲスレバ、健全ナル家庭ガ殘ツテ行カウト思フ、今デヤ健全ナ家庭ダラウガ何ダラウガ、ドン／＼潰レテ行キマスガ、サウ云フヤウナコトノ御調ハナカッタモノデセウカ

○國務大臣(櫻内幸雄君) 日本ハ外ノ國ト違ヒマシテ、家族制度ノ國デアリマスノデ、其ノ點ニ付キマシテ之ヲ維持スルト云フ見地カラ、相續稅ト云フモノニ付キマシテハ、相當稅制調査會ニ於キマシテモ議論ガアツタヤウデアリマスシ、大藏省ニ於キマシテモ種々研究ヲ致シタ所デアリマスガ、今回ノ増稅ニ於キマシテモ、ドノ程度ガ中心デアルト云フ風ニハ何シテ居リマセヌケレドモ、大體一萬圓程度デ百圓、四十萬圓ニ付キマシテ確カ一割位ニ割リ當ル勘定デアツタト思ヒマスガ、其ノ程度ハ先ヅヤツテ宜イノデヤナイカト、斯ウ云フ風ナ結論ニナリマシテ、サウシテ決定シタヤウナ譯デアリマスカラ、又外國等ニ較ベマシテモ、必ズ

シモソレガ高イ稅率ニハナツテ居リマセヌノデ、今申スヤウナ風ニ決定シタ譯デアリマス

○子爵大河内輝耕君 サウスルト、今私ノ御話シタヤウナコトハ全然御研究ガナカッタ見ナクチヤナラヌト思ヒマスガ、是ハハモウ他日ノ問題ト致シテ置キマス、尙一ツ伺ヒタイノハ、今度ハ三稅ヲ還付スルヤウナコトニナリマシタ……三稅デヤナイニ稅デスカ、地租ト營業稅ヲ還付スルヤウナコトニナリマシタ、ソレデ將來國家ノ財政モ、ソレハ地方ノ財政モ無論デアリマスガ、地方ト云ハズ國家ト云ハズ、財政ト云フモノハ弾力性ト云フモノガナケレバナラヌ、ソレニ弾力性ヲ持タセル爲ニハ色々々稅ガアツタ方ガ宜イト思ヒマス、或モノハ地方、或モノハ國ト斯ウ云フ風ニ決メテシマヒマス、國デ或稅ヲ取ラウト思フ時ニ、ソレヲ取ラウト思フモノ、例ヘバ國デ地租ガ取りヨイ、今地租ガ取りヨイト云フヤウナ場合ニ、國ニサウ云フ需要ガ起ルト云フヤウナ場合ニ、ソレヲ利用スルコトガ出來ナイ、尤モソレハ其ノ爲ニ直シテシマヘバ別デス、直セバ別デスケレドモ、併シ今ノ所デハ地租、營業稅ノ彈力ハ國デハ利用出來ナイ建前ニナツテ居リマスカラ、財政政策モソレヲ基礎トシテ立テラレルノダラウト思ヒマスガ、寧ロ斯ウ云フモノハ幾分カ御殘シニナツテ、地方ノ團體ハ金ヲヤルコトヲ殖スコトハ、是ハ一向差支アリマセヌ、ソレハ地方ニヤル部分ヲ少クシロトハ申シマセヌケレドモ、矢張り稅種ハ多イ方ガ宜イト云フ意味カラ、斯ウ云フモノヲ幾ラカ國ニ殘シテ置ク方ガ宜クハナイカト思ヒマスガ、其ノ邊ハ如何デスカ

○國務大臣(櫻内幸雄君) 此ノ地租、營業稅ハ御承知ノ通り、國ニ於キマシテモ矢張り一應取ルノデアリマシテ、即チ國デハ地租ガ百分ノ二、ソレカラ營業稅ガ百分ノ一。五ト云フモノヲ取ルコトニナツテ居リマス、サウシテ是ハ一應國デ取リマシテ、國デ還付致シマスガ、還付致シ場合ニハ御承知ノ通り、所得稅ノ一部分及ビ遊興飲食稅及ビ入場稅等ノ半分、サウ云フヤウナモノヲ國ニ併セマシテ、サウシテ按配シテ各縣ニ返シテヤルト云フ風ナ方針ヲ採ツテ居ルノデアリマス、是ハ地方ヘ還付スルノニ、國ニ取ルト云フコトハ、チヨットヲカシイデヤナイカト云フ風ニ考ヘラレルノデアリマスケレドモ、是ハ要スルニ地方ノ財政ヲ矢張り非常ニ緩和シタリ、或ハ困ツテ居ル所ヲ援助シ、樂ナ所ヘハ少額行クト云フ風ニ、多少按配ヲ致スト云フ事柄ガ含マレテ居ルノデアリマシテ、地租、營業稅並ニ昭和十七年度カラノ家屋稅ハ、一遍ハ取りマスケレドモ、又其ノ全部還シマスガ、併シナガラ還ス代リニ、此ノ上ニ附ケテ行ク所ノ金額ガ、所謂貧窮縣トカ富裕縣トカ云フヤウナコトニ依ツテ異ナリ、又人口ノ點等ニ依ツテモ變ヘテ、サウシテ還付シテ行ク、配付シテ行ク、斯ウ云フ風ナ建前ヲ採ツテ居ルノデアリマシテ、サウシテ其ノ上ニ尙特別會計ヲ持ヘマシテ、平均ヲシテ是ガヤツテ行ケルヤウナ風ナ手配ヲ採ツテ居リマス、即チ御話ノヤウナ風ニ、一旦國ニ取ツタ上、國デ自由ニスルヤウナ風ナ建前ニナツテ居ルノデアリマス、併シ其ノ率ハ決定ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、其ノ率ノ上ニ於テ差異ハアリマセヌケレドモ、配付金ト還付金トヲ合セマスト云フト、其處ニ幾ラカ國ト致シマシ

テ、之ニ對シテ適當ノ配付ヲ爲スヤウナ仕掛ニナツテ居ルノデアリマス

○子爵大河内輝耕君 申上ゲ様ガ惡カッタカモ知レマセヌガ、私ノ申スノハ、地租モ營業稅モ幾ラカ國ニ殘シテ御置キニナツテ、全部還サズ、一部ヲコッチニ殘シテ置イタ方ガ宜クハナイカ、斯ウ云フコトデス

○國務大臣(櫻内幸雄君) 今ノ御話ハ、地租モ營業稅モ國デ取ツテ、全部還サズニ中央ニ一部殘シテ置ク方ガ宜イデヤナイカト云フ御意見デアリマスガ、是ハ地方財政ノ確立ヲ期スルト云フヤウナ意味ニ於キマシテ、今回ノヤウナ建前ヲ採ツタ譯デアリマス

○子爵大河内輝耕君 大體意味ハ分リマシタ、次ハ、相續稅ノ物納ノコトハ大藏大臣ハ御認メニナツタト云フコトデゴザイマスガ、具體的ニ伺ヘルナラ伺ヒタイノデスガ、斯ウ云フコトハドウ云フ方法デ御研究ニナリマスカ、又ドウ云フ目安デ御研究ニナリマスカ、御決リニナツタダケデモ宜シウゴザイマスガ、昨日初メテノコトデアリマスカラ……

○國務大臣(櫻内幸雄君) 物納ノ問題ハ多年ノ問題デアリマスガ、是ハ容易ニ實行シニクイノデアリマシテ、今回モ遂ニ物納ト云フ事柄ヲ採用スルニ至ラナカッタノデアリマス、ソレデ衆議院ニ於キマシテ、ドウシテモ物納ヲ採用シナケレバ納稅ノ上ニ於テ公平デナイ、又非常ニ納稅者ノ不便デアル、斯ウ云フ議論ガ起リマシテ、其ノ事ガ問題ニナツタノデアリマスガ、併シ此ノ物納ト云フ問題ハ、若シ之ヲ實行スル適當ナル方法ガアレバ、私ハ必ズシモ之ヲ排斥スルモノデハナイノデアリマシテ、出來ルダケ此ノ研究ヲ具體的ニヤリマシテ、實行ノ出

來ルヤウナ方法ヲ發見致シタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、若シ之ヲ實行致スト致シマスレバ、矢張り一ツノ、國デ申セバ營繕管財局ノヤウナモノヲ設ケテ、即チ物納ヲ取扱フ所ノ一ツノ特別會計ナリ、局ナリヲ設ケマシテ、物デ納メタモノハ一時預メ、適宜ニ賣却シテ行クト云フヤウナ方法デモ採ラナケレバナリマセスケレドモ、何分ニモ物納問題ヲ研究致シテ見マス

ト、或一定ノ所ニ纏テ持ッテ居ラレル方ハ、比較的ソレガ樂デアリマスケレドモ、財産ト云フモノハ、全國ニ跨ッテアツコトニ財產ガ散在致シテ居リマス關係モアリマシテ、其ノ點ニ於テモ非常ニ面倒デアリマス、ドノ點ヲ物納ニシテ取ルカ、ソレナラバ或評價ヲシテ納稅者ガ勝手ナモノヲ持ッテ來テ、ソレヲ押付ケラレルト云フ譯ニモ行キマセヌシ、ソコニ非常ニ困難ガゴザイマス、殊ニ例ヘテ申セバ、百坪ノ地所ニ百坪ノ立派ナ家ヲ建テ居ル、百坪デナクテモ、百坪ノ所ヘ九十坪ノ立派ナ家ヲ建テ居ル、斯ウ云フ時ニ、家ヲ二十萬圓ナラ二十萬圓ニ評價シタ時ニ、ソレヲ物納ニスルト云フ方法ハチヨットナイノデアリマシテ、ソレヲ壞ハシテ持ッテ行ク譯ニ行キマセヌノデ、勢ヒソレヲ賣却シテ持ッテ行クト云フ問題ニナリマスガ、サウ云フ專柄ハ却テ良クナイ結果ヲ齎シマスノデ、サウ云フ點ガドウ云フ風ナ方法ニ依ッテヤレルモノデアルカ、之ヲ實行ニ移スト致シマスト云フト、相當ニ研究ヲ致スコトハ勿論デアリマスガ、適當ニ準備ヲ致サナケレバ、此ノ物納ノ制度ト云フモノハ行ヘナイノデヤナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマス、從ヒマシテ私ハ衆議院ニ於キマシテハ、ソレヲ實行ニ移スト云フ意

氣込ラ以テ調査會ヲ開イテ、其ノ實行ノ方法ヲ調査シテ見タイト思フ、斯ウ云フ風ニ申シタ譯デアリマシテ、今私ハ直チニ此ノ物納ヲ實行スルト云フ迄ノ頭ハ決ッテ居リマセスケレドモ、物納ヲスル專柄ハ私ハ惡クナイコトト考ヘマス同時ニ、ソレヲ實行スル途ガアリマスレバ實行致シタイ、サウシテ之ニ對シテ研究ヲ致シテ見タイ、斯ウ考ヘテ居ル譯デアリマス

○子爵大河内輝耕君 能ク分リマシタ、次ニ伺ヒタイノハ、相續稅ノミナラズ色々ナ場合ニ生ジマスノデスガ、評價ガドウモウマク出合ハナイ場合ガ多イノデアリマス、是ハドツチカラ言フモ理由ガアルコトト、強チドツチガ不利ダト云フコトモ言ヘマセヌ、幸ヒ物納ガ無理モナイコトト御思ヒニナリ位ナラバ、評價ガ折合ハナイ場合ニハ、其ノ評價デ政府ガ買ッテヤレルト云フ位ノコトハ出來マスマイカ、サウスレバ等モナクナルシ、稅務官吏ノ方モ責任ヲ持ッテヤレルト思ヒマス、サウ申シテハナンデスケレドモ、下級ノ稅務官吏ハ大臣ガ御考ニナルヤウニナカノ責任ヲ持ッテ居ラナイノデ、トシテモナイ査定ヲシテ來ルノデス、シテ來ルガ、言ッテヤレルト、ア、サウデスカト言ッテ、直グ引クコトモアリマス、マルデドウモ無責任極クモデアリマス、ソレデサウ云フ風ナ場合ニ隱シテ居ハシナイノダトカ、何トカ云フ非常ニ争ガ多イ、是ハ相續稅バカリデハアリマセヌガ、色々ナ場合ニ起ッテ來ル、サウ云フ時ニ評價ヲシテ、ソレナラバ政府デ買ッテ下サイト云フコトヲ納稅者ガ言ヘルヤウニシテ、買上ゲテ呉レレバ一番世話ガナイ、何モ争ガ起ル餘地ガナイノデスケレドモ、何かサウ云フコトモ併セテ御研

究願ヒタイト思ヒマスガ、如何デスカ

○國務大臣(櫻内幸雄君) 誠ニ御尤ナ點デアリマス、私共常ニサウ云フ點ヲ聞クノデアリマスガ、併シ折合ハナカッタ場合ニ政府ガ買フト云フ專柄ニモ、矢張り政府ニ一ツノ所謂管財局ノヤウナモノガ出來マセヌト云フト、ソレハ實行ガ出來ナイノデアリマス、殊ニ又折合ハナイ場合ニ於テ、政府ガコレヲ取ルト云フコトニナリマス、マア財産ヲ持ッテ居リマシテ、折合ッテ、政府ノ方ノ評價額ガ安カッタ場合ニ於テハ、其ノ方ハ金納ニスル、政府ノ方ガ高ク見積ラタ場合ハ政府ニ渡サヤウナ風ナコトガ起ラストモ限ラナイノデアリマシテ、其ノ點ハ非常ニ實際ノ上ニ於テ、實行ニ考慮ヲ致サナケレバナラスト思フノデアリマスガ、御話ノ如ク現在ノ稅務署ニ於キマシテ、ドウモ評價其ノ他ニ付テ實際ニ當嵌ラヌ場合ガ往々アルト云フコトヲ、私自身モ體驗ヲシタコトモアリマスシ、事實ソレヲ聞イテ居ルコトモアルノデアリマシテ、ソレ等ノ專柄ハ全く大河内子爵ノ仰シヤル通り同感デアリマスノデ、若シ今日研究ヲ致ス調査會ガ出來マスレバ、之ヲモ合セテ十分研究シテ至急ニ解決ノ途ヲ講ジタイト考ヘマスガ、或ハ評價ノ方法ニ付テ一定ノ基準ヲ設ケルカ、又一定ノ方法ヲ講ジテソレニ依ッテ評價方法ヲ決メルトカト云フヤウナ專柄ハ、是ハ物納ヨリ早く解決方法ヲ見出スコトガ出來ヤシナイカト斯ウ思ッテ居ル譯デアリマス

又之ニ對スル大藏當局ノ態度、是ガ一番大事ナコトデス、ドウモ澤山取ッテ來レバ褒メルトカ云フヤウナ頭ガドウシテモアル、ソレカラ稅務官吏カラ言ヘバ、斯ウ云フ時ダト云フ考ヘガアル、是ハ此ノ頃ノ官僚「フ」シ「ト」カ何トカ云フ言葉ガアリマスケレドモ、ソレナ言葉ガマダ發明サレナイ前カラアル心理狀態アル、必ズシモ惡イノデハナイノデ、薄給ノ人ガ山ノ中ヲ五里モ十里モ歩イテ行ッテ、酒ノ密造ヲ發見シテ得意ニナッテ居ルト云フ考ハ、必ズシモ惡クナイト思ヒマス、惡イトバカリモ言ヘナイ、併シ又餘リ度ガ過ギテモイケナイノデドツチモ言ヒ分ガアル、併シ斯ウ云フ風ニ非常ニ殖エテ來マス今ハ少シ其ノ甘クヤッテ行カナケレバナラスト思フ、段々辛クシテ行クコトハ構ヒマセヌ、段々ニ誅求スルコトハ構ハナイ、終ヒニハ、十ノモノヲ十取ッテ少シモ構ハナイ、初メカラ……今年カラ殖エル時ニ十ノモノハ十取ルト云フヤウナヤリ方デハソレハ稅制ヲ圓滿ニ實行出來マセヌシ、財政モ決シテ……經濟ノ點カラ言ッテモ好マシクナイト思フ、是ハ教育機關ダトカ訓練ダトカ云フコトヨリモ大藏省ノ態度ヲ決メテ指令ヲ一本出シテ戴ク方ガ餘程始末ガ宜イト思ヒマス、當分甘クシロト云フヤウナ意味ノモノヲ出ス、サウ云フヤウナ考ハアリマスマイカ

○國務大臣(櫻内幸雄君) 只今ノ稅務官吏ノ心構ニ付キマシテハ御注意ノ點御尤モダト思ヒマス、此ノ點ニ付キマシテハ大藏省ト致シマシテハ常ニ注意致シテ居ルノデアリマスガ、今回ハ改メテ是等ノ點ニ付キマシテ十分稅務官吏トシテ心構ヲ決メテサウシテ輿論ノ意嚮ニ從ッテ行クヤウニ致シタ

又之ニ對スル大藏當局ノ態度、是ガ一番大事ナコトデス、ドウモ澤山取ッテ來レバ褒メルトカ云フヤウナ頭ガドウシテモアル、ソレカラ稅務官吏カラ言ヘバ、斯ウ云フ時ダト云フ考ヘガアル、是ハ此ノ頃ノ官僚「フ」シ「ト」カ何トカ云フ言葉ガアリマスケレドモ、ソレナ言葉ガマダ發明サレナイ前カラアル心理狀態アル、必ズシモ惡イノデハナイノデ、薄給ノ人ガ山ノ中ヲ五里モ十里モ歩イテ行ッテ、酒ノ密造ヲ發見シテ得意ニナッテ居ルト云フ考ハ、必ズシモ惡クナイト思ヒマス、惡イトバカリモ言ヘナイ、併シ又餘リ度ガ過ギテモイケナイノデドツチモ言ヒ分ガアル、併シ斯ウ云フ風ニ非常ニ殖エテ來マス今ハ少シ其ノ甘クヤッテ行カナケレバナラスト思フ、段々辛クシテ行クコトハ構ヒマセヌ、段々ニ誅求スルコトハ構ハナイ、終ヒニハ、十ノモノヲ十取ッテ少シモ構ハナイ、初メカラ……今年カラ殖エル時ニ十ノモノハ十取ルト云フヤウナヤリ方デハソレハ稅制ヲ圓滿ニ實行出來マセヌシ、財政モ決シテ……經濟ノ點カラ言ッテモ好マシクナイト思フ、是ハ教育機關ダトカ訓練ダトカ云フコトヨリモ大藏省ノ態度ヲ決メテ指令ヲ一本出シテ戴ク方ガ餘程始末ガ宜イト思ヒマス、當分甘クシロト云フヤウナ意味ノモノヲ出ス、サウ云フヤウナ考ハアリマスマイカ

○國務大臣(櫻内幸雄君) 只今ノ稅務官吏ノ心構ニ付キマシテハ御注意ノ點御尤モダト思ヒマス、此ノ點ニ付キマシテハ大藏省ト致シマシテハ常ニ注意致シテ居ルノデアリマスガ、今回ハ改メテ是等ノ點ニ付キマシテ十分稅務官吏トシテ心構ヲ決メテサウシテ輿論ノ意嚮ニ從ッテ行クヤウニ致シタ

イト思シテ居リマス、之ニ對シマシテ適當ノ通牒ヲ出シタイト考ヘテ居リマス
○子爵大河内輝耕君 私ノ質問ハ是デ終リマス、唯モウ一ツ御願ヒシテ置キマスガ、適當ノ時機ニ農林大臣ニ質問致シタウゴザイマス

○河田烈君 私ハ寧ロ各論ニ屬スル事柄ダト思ヒマシテ御遠慮申シテ居リタラシムトスガ、今大河内子爵カラ御質問ガ出マシテ、地租ノ問題ガ出マシタカラ、丁度好イ機會デアリマスカラ時間ヲ節約スル爲ニ一應伺ヒマス、此ノ度ノ地租……簡單ニスル爲地租ダケニ止メテ置キマス、地租ハ全部地方分與金ノ方ノ會計ニ收入セラレルコトニナツタヤウデアリマス、多少、四百何十萬圓ト云フモノガ一般會計ノ中ニ計上サレテ居リマスガ、是ハ多分納期ノ關係ダラウト想像セラレマス、即チ全額ハ地方分與稅特別會計ノ方デ收入サレルコトニナツト思ヒマス、ソレデ伺ヒタイノハ、此ノ前地租營業稅ガ地方委讓ト云フ問題ガヤカマシクナツタ、貴族院ニ於テハ地租ノ本質ニ付テ多大ノ御議論ガアツタヤウニ記憶致シテ居リマス、即チ其ノ内容ハ簡單ニ申セバ、地租ハ我が國ノ傳統的觀念カラ言ッテ、是ハ昔ノ未ダ今ノ行政組織ノ發達シナイ當時ニ於テ國ノ領有ト云フコトト君主ノ私有ト云フコトトノ區別ガ、是ガマダ明確ナ區別ガナイ、是ハ我が國ノミナラズ、到ル處ノ各國ノ歴史ノ發達ガサウデアアル、其ノ當時以來地租ト云フノハ、是ハ天子様ニ差上ゲル租稅ダト云フ觀念カラ發達シテ居ルノデアアル、ソレヲ地方ニ委讓スルノデアアルト云フコトハ甚ダ面白クナイ、我が國ノ傳統上面白クナイト云フ論ガヤカマシクナツタヤウニ記憶シテ居

リマス、ソレノ是非ノ論ヲ私ハ別ニ致スノデハゴザイマセス、何時迄モ世ノ中ハ活キモノデ進歩スルノデアリマスカラ、一ツ事ニ囚ハレル必要ハ少シモナイノデアリマスカ、一體サウ云フ見地……併シナガラ又サウ云フ意見モ亦必ズシモ是レ固陋ノ意見ナリトシテ蔑視シテシマフコトハ出來ナイヤウニ感ゼラレマス、ドチラガ宜イカ私ハ判斷致シ兼ネルノデアリマスガ、ソレナラバソレ等ノ點ニ付キマシテナント申シマスカ、此ノ頃申シマスル流行リ言葉デ申セバ現政府ノ「イデオロギー」ハ何處ニアルカト云フ點デアリマス、成ル程今度地租ハ地方ニ委讓セラレテ居ルノデハゴザイマセス、

國ガ徵收シテ居ル、今迄ノ御説明ヲ大分伺ッテ見テ居ルト有ラユル機會ニ於テ地租ハ國ノ稅トシテ之ヲ賦課スル、從ッテ國ガ又國ノ機關ガ之ヲ徵收スル、即チ稅務署ガ徵收スル、併シソレハ地方的ノモノデアアルカラシテ之ヲ地方ニ還付スル、ソレカラ又一地方地租ト云フモノハ地方的ニ深キ關係因縁ヲ持ッテ居ルカラ是ハ自分ノ所ノ地租デアアルト云フ觀念ヲ十分ニ持タセル、サウ云フ議論ノ上カラ特ニ是ハ特別會計ノ下ニ置クト云フヤウニ屢、伺フノデアリマスガ、前段ニ申上ゲタ「イデオロギー」ニ對スル御考ハ特ニ此處ニ現レテ居ナイノデアアデ、特別會計ノ收入ニ屬スルト云フコトハ單純ニ便宜上カラ出テ居ルコトデアアルノカ、地租ハ矢張り國ガ國稅トシテ飽ク迄取ッテ昔カラ「イデオロギー」ニ對シテ相當ノ敬意ト云フトヲカシイガ、相當ニ重點ヲ認メテ居ルカラ矢張り國ノ稅トシテ取ルノデアアル、單純ニ唯便宜上稅務署ガ徵收シ、稅務署ガ賦課スルコトヲ以テ正シイ、行政上正シイ、實行上正シ

イカラ其ノ點カラノミ國ガ取ルト斯ウ云フ御考デアアルノカ、全然出來ルコトナラ地方ニ委讓シテモ宜イノデアアルト云フ考デアアルノカ、サウ云フ點ガ甚ダハッキリシナイヤウニ思ハレルノデアリマスガ、只今大河内子爵カラノ、一部分ハ國ニ殘シテモ宜イデヤナイカト云フ御議論ノ出ルノモサウ云フ所ニ觸レテ居ルンデヤナイカト是ハ甚ダ同僚ノ意嚮ヲ忖度シテ失禮デスガ、簡單ニ申シマスト云フト假ニ前提ヲ設ケテ飽ク迄地租ハ形式上、形式上ト云フノモ惡イ形式デアリセス、我が國ノ「トラディション」カラ言ッテモ矢張り國ノ稅トシテ取ルト云フコトニスルノガ宜イノデアアルト云フ「イデオロギー」カラ出發シテ居ルナラバ、之ヲ一般會計ニ取ッテ置イテ地方分與稅特別會計ノ必要ノ有無ニ付テハ私多大ノ疑問ヲ持ッテ居ルガ、假ニ其ノ必要アリトスルナラバ一般會計ニ支出シテ受入金ニシテモ差支ナイ、併シソレハ止シテ特別會計ヲ設ケテ其ノ方ノ收入ニスル、サウスルトソレハ必ズシモ國ノ稅トシテ取ラヌデモ宜イケレドモ、徵收ノ都合上、賦課上ノ租稅行政上ノ爲ニ矢張り國トシテ取ルノダ、國ノ稅トシテ取ルノダ、サウシテ之ヲ還付スルト云フヤウニモ取レルシ、ドウヤラ實際ニ於テハアノ議論ノヤカマシカッタ地方委讓ノ色ガ、香ガスルヤウニモ思ハレル、又國デ取ル主義カラ、「イデオロギー」カラ取ルカノヤウニモ思ハレル、ドウヤラソコガハッキリシナイノデアリマスガ、地租ト云フモノニ對スル現政府ノ今仰セラレタ「イデオロギー」ハ奈邊ニゴザイマスカ、一言伺ッテ置キタイト思ヒマス

○國務大臣(櫻内幸雄君) 御尋ノ點ハ二點デアアツト思ヒマス、其ノ第一ハ、地租ト云フモノノ觀念ハドウ云フ所ニ置イタノデアアルカト云フ御話デアリマスガ、此ノ點ハ只今御話ノ如ク原内閣時代カラ地租委讓ノ問題ガ盛ニ起ツタ時モゴザイマシテ、其ノ時ハ地租ハ矢張り天子様ノ土地ニ對シテノ貢デアアルカラト云フ風ナ意見ガアリマシテ、此ノ委讓ニ反對ト云フコトガ相當盛デアリマシタ、サウシテ現在ニナツタノデアリマス、此ノ度ノ此ノ地租ニ對スル事柄ニ付キマシテハ、之ガ「イデオロギー」トシテ、昔ノ「イデオロギー」ヲ變ヘル、從來ノ「イデオロギー」ヲ變ヘテ、新タニ是ハ地方ニヤッテモドウデモ宜イノダト云フ風ナ意味ハ、少シモ大藏省ニ於キマシテモ、稅制調査會ニ於テモ起ツタヤウニ聞イテ居リマセス、矢張り御話ノヤウナ意味ガ、從來ノ此ノ方針ト云フモノハ、其ノ儘存続スルト云フ見地カラ、地租ヲ中央ニ於テ取ルト云フ事柄ガ決定シタモノト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、而シテ之ヲ地方ニ還付スルト云フコトニ付キマシテハ、此ノ地方ノ財源ト云フモノヲ確立シテヤルト云フ事柄ガ今日必要デアリマスルノデ、ソレニハ國トシテドウ云フ風ナヤリ方ヲスルカト云フ建前カラ、戶數割ヲ廢シマシタ結果ト致シマシテ、地租ト營業稅ト家屋稅トヲ國ガ取ッテ、其ノ取ツタ金額ノ中カラト申セバ、丁度大河内子爵ノ御話ノ通りニナリマスガ、ソレデハ少イノデアリマシテ、ソレト合セテ、今ノ所得稅ノ一部及ビ遊興飲食稅トカ、入場稅トカ云フモノノ半分トカ云フモノヲ合セマシテ、サウシテ一遍國デ取リマシタ地租トカ營業稅トカ家屋稅トカ云フモノノ金額ハ、少クトモソレヲ府縣ニ還スト云フ建前カラ、名前ハ適當デアアルカドウカ知り

マセスケレドモ、還付スルト云フコトニ相成ツテアリマス、サウシテ之ヲ一般會計ニ受入レテヤル方宜イデハナイカ、特別會計ヲ設ケル必要ハドウデアアルカト云フ御話デアリマシタガ、其ノ特別會計ヲ設ケマスノハ、矢張り税ノ收入ニハ始終變化ガアリマスノデ、矢張り國ニ於テ縣ノ財政ノ不足分ニ對シテ、一定シタル所ノ財源ヲ與ヘマスノニハ、年度ニ依テ非常ニ多クノ收入ガアリ、年度ニ依テ非常ニ其ノ税額ガ減ルト云フヤウナコトガアツテハ、地方ノ財政ト致シマシテハ非常ニ困ルデアリマセウカラ、之ヲ全國的ニ押並ベテ、サウシテ毎年平均シテ、本年ガ少ナクトモ前年ガ多クカ場合ニ於テハ平均シテ、即チ縣ニ還ス金ヲ餘リ大ナル變化ノナイヤウニシテ行キマスノニハ一ツノ體系ニシテ其處ニ受入レテ、サウシテ調節シテ行クコトガ一番適當ニ出來ルト、斯ウ云フ考ヘ方カラ特別會計ヲ設ケマシテ、何ト申シマスカ、年々ノ均衡ヲ保ツト申シマスカ、サウ云フヤリ方ヲシヨウ、斯ウ云フ風ニナツテ居ルヤウナ次第デアリマシテ、其ノ點ニ付キマシテハ、特別會計ヲ設ケルト云フ事柄ハ非常ニ便利デナカラウカト、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマス、今ノ御尋ノ從來ノ此ノ地租ニ對スル觀念ヲ變ヘタカドウデアアルカト云フヤウナコトハ、少シモナイノデアリマシテ、唯之ヲ國ニ於テ取ツテ居リマスノハ、課税標準ヲ全國的ニ統一シテ行クト云フ事柄モ效果ガゴザイマスシ、又地租ヲ國ニ於テ取ルト云フコトニ付キマシテハ、心理狀態ニモ從來ト變ラナイ觀念ヲ與ヘルコトト考ヘマス、色々ノ點ヲ綜合シテ今回ノヤウナ風ニ決定致シタ譯デアリマス

○河田烈著 政府ノ御趣旨ノアル處、殊ニ大藏大臣ノ考ハ能ク分ルノデアリマスガ、私ガ先刻申シマシタ特別會計云々ト云フノハ、此ノ特別會計ノ必要ニ付テハ疑フ持ツト云フコトヲ申上ゲタ其ノ是非ニ付テハ、此所デ再ビ、是ハモウ決リマシタ問題デアリマスカラ、論ズル氣ハ毛頭ナイノデアリマス、モウ決リマシタト云フモ、税法ノ法律ハ他ノ委員會デアリマスガ、掛ツテ居ルノデアリマス、豫算等モ既ニ決ツタ問題デアリマスカラ、之ヲ今更彼此、論ゲツラウ考ヘナイノデアリマス、唯其ノ必要ノ有無ニ付テ疑フ持ツテ居ルト云フコトヲ申上ゲタケデアリマスガ、今地租ニ付テハ大藏大臣ノ御話ノアリマシタヤウナ考ヲ表ハスナラバ、寧ロ特別會計ヲ存置スルコトニ致シマシテモ、一遍一般會計ノ方ニ全部入レテ、一般會計カラ繰入レタ方ガ其ノ御氣持ハ一層表ハレタノデハナイカト思フ、ソレハ意見ニ互リマスガ、其ノ例ハ一度既ニ豫算ノ方ニモ現レテ居ルノデアツテ、一般會計ノ方ノ歳入補填公債十六億デスカ、約十六億ト云フモノヲ計上シテ居ルノニ、歳出ノ方ニハ臨時軍事實費特別會計繰入ノ六億ト云フモノガ又出テ居ルノデアリマス、蓋シ此ノ御趣旨ハ、全部増税ガ一般會計ノ財源ニナラズニ、換言スレバ六億ノ歳出ト云フモノ、臨時軍事實費特別會計繰入ヲ減ラセバ、歳入補填公債八十億デ済ム譯デアリマス、ソレヲ歳入補填公債八十億トシ、租稅財源ヲ以テ又六億ノ臨時軍事實費特別會計繰入ヲシテ居ラレルノハ、多大ノ稅ヲ徵收スルト云フコトハ、之ヲ以テ矢張り此ノ國家非常時ノ臨時軍事實費ノ財源ニナルト云フヤウナ精神ヲ現シテ居ラレルノダト思ヒマス、斯ウ云フ形式ヲ

以テ精神ヲ現スト云フコトハ又別ノ問題デアリマスガ、兎ニ角サウ云フ系體ニ出來テ居ルノデアリマス、サウ云フ例モアルノデアリマスカラ、大藏大臣ノヤウナ御考ガ……甚ダ失禮デスカ、御考ガ全般的ニ皆ガ首肯スル、必ズサウナクチャナラスト云フカ、是ハ別問題デスカ、サウ云フ御考デアアルナラバ、特別會計ヲ置キマシテモ、一遍ハ地租ハ一般會計ノ歳入ニナスツテ置イテ、之ヲ特別會計ニ繰入レトスベキデハナカッタカト思ヒマス、是ハ意見ニナリマスカラ差控ヘマシテ、是以上質問ヲスルコトハ致シマセ

○國務大臣(櫻内幸雄著) 今河田サンノ御意見ハ、御意見トシテ私ハ理由ナイトハ申シマセヌガ、此ノ手續ヲ取ラスコトニナツテ居リマスノデ、御了承願ヒタイト思ヒマヌ

○委員長(伯爵林博太郎著) 法文ノ修正ニ付キマシテハ文書函ニ投入シテアリマスケレドモ、明朝衆議院ノ修正ノ案ヲ一目瞭然タル、イツモノヤウナ工合ニ出來マシタモノヲ政府カラ皆様ニ御配リスルコトニナリマスカラ、左様御了承願ヒマス

○安宅彌吉著 今ノ問題ニ關聯シマシテ、チヨット伺ツテ置ク譯ニ行キマセヌカ

○委員長(伯爵林博太郎著) 餘リ長クナケレバ宜シウゴザイマス

○安宅彌吉著 今大藏大臣ニ伺ヒ見タイノハ、地方分與稅還付デスネ、一般ノ府縣ハ、府ト縣ハ凡ソ似テ居ル、ソレカラ六大都市ノ所ハ、市ノ方ノ範圍ガ非常ニ大キクナツテ、サウシテ稅ノ舉ガ分モ非常ニ多イ、今度ソレガ還付サレル時ニ半々ニシテ還付サレルト、六大都市ノ方ハ非常ニ御困リデハナイカ、ソレニ付テノ御考ハドウデス

カ、ソレカラモウ一ツ一緒ニ申上ゲタイノデスカ、今ノ相續稅ノ問題デアリマス、相續稅ノ問題ハ、マア値段ガ合ハナイ時ニハ何方有力ナ信託會社トカ何トカ云フモノヲ立會ハシテ戴イテ、稅務署ダケノ決定ニ依ラズニ、何方民間ノ代表者ヲ加ヘテ戴クト云フ方法ガ一ツ、ソレカラ支拂方法デアリマス、例ヘバ銀行ガ私共ノ、非常ニ顯著ナ例ハ或銀行ガ神戸デ非常ニ澤山ノ地面ヲ擔保ニシテ一時金ヲ貸シテ居ツタ、ソレヲ處分スル時ニハ三分ノ一ニモ賣レナイ愈、處分スル時ニハ値ガ政府ト合ハナイ、ドウシテモ賣ラナケレバナラヌコトガ出來テ來ル、サウスルト非常ニ値開キガ出來テ來テ半分ニモ賣レナイコトガアルカラ、其ノ支拂方法ヲドウスルカ、確實ナル公債ヲ持ツテ來イトカ何トカ言フヤウデハ擔保ガ餘程困難デアリマスカラ、擔保ノ方法ヲドウスルカト云フコトト、委員會ニ民間ノ人ヲ入レテ戴クト云フコト、ソレカラモウ一ツハ所謂政府ガ同族會社ト認メルヤウナ會社ノ株式デアリマス、是ハ市場性ガアリマセヌ、市場性ノナイモノニ對シテハ其ノ同族會社ヲ認メテ、之ヲ普通ノ評價デ以テヤラレタナラバ賣ルコトガ出來ナイ、サウ云フ風ノモノニ對シテハ評價ノ方法、ソレカラ支拂方法ハドウ云フ風ニナサルノカ、ソレダケヲ聽イテ置キタイト思ヒマス

○國務大臣(櫻内幸雄著) 只今ノ分與稅ノ問題デアリマスガ、徵收ハ御承知ノ通り地租モ營業稅モ家屋稅モ一定シタルモノデ徵收致シマシテ、ソレデ國ガソレニ所得稅其ノ他ノモノノ或部分ヲ加ヘマシテ、其ノ金額ノ中デ今度ハ地方ニ分與致シマスノニハ或ハ人口デアルトカ、財政狀態デアルトカ

サウ云フ事柄ヲ全部見合ッテ決定致スコトニナツテ居ルノデアリマシテ、今ノ御話ノコトハ……

○安宅彌吉君 四分ノ一ヲ政府デ取ツテ、四分ノ一ヲ府縣ニ再ビ還スト云フコトニナツテ居リマスカラ、結局ハ半々ニナリマス

○國務大臣(櫻内幸雄君) 率ハ國ノ方ガ四分ノ一ニナリマス、サウシテ四分ノ一ガ府縣ニ……

○安宅彌吉君 イヤ府、市デス

○國務大臣(櫻内幸雄君) 市町村ガ四分ノ二ニナル譯デスカラ、府縣ト市町村ト半分ヅツ……

○安宅彌吉君 府縣ト市町村ト半分ヅツトシタラ、率ガ半分ヅツデ……此ノ問題ハ政府委員カラ申上ゲマス、ソレカラ相續稅ノ問題デアリマスガ、相續稅ノ問題ハ財産ノ問題ニ付キマシテ評價スルト云フ事柄ガ一番ムツカシイ問題デアリマシテ、此ノ評價ガ適當ナ評價ガ出來マシレバ、世間ノ此ノ問題ニ對スル非難ト云フモノハ非常ニ緩和サレルト思ヒマス、從ヒマシテ御話ノ如ク民間ノ人間ヲ入レテ、サウシテ評價委員會デモ拵ヘテ評價スルト云フ事柄モ一ツノ方法デアリマス、今研究シヨウト思ツテ居ル事柄ハ其ノ問題デアリマスカラ、サウ云フ事柄ヲ研究シテ見テドウ云フ方法ガ良イカト云フコトヲ考ヘタイト思ヒマス、ソレカラ不動産デアルトカ、或ハ同族會社ノ市場性ノナイ株券デアルトカ云フモノノ評價ニ付テ、此ノ評價ハ甚ダムツカシイ、殊ニソレヲ金ニ換ヘル時ニ於テハ、實際ノ値打ハ百圓ノモノデモ、或ハ急ニ賣ラ

ナケレバナラヌ時ニハ、三十圓トカ四十圓トカニ賣ラナケレバナラス、非常ナ納稅人ガ迷惑ヲスル、此ノ點ハ御尤モナ點デアリマスガ、御承知ノ通り不動産ノ場合ニ於キマシテハ十箇年間ノ延納ヲ認メル、詰リ財產ノ半分以上ガ不動産デアッタ場合ニハ、今申ス通りニ延納ヲ認メ、サウシテ一遍ニ取リ立テテ、ソレデ納稅人ガ非常ニ迷惑ヲスルコトノヤウニ、今方法ヲ講ジテ居ル譯デ居ル譯デアリマス、從テ其ノ間ニ物納ノ制度ガ確立致シマスレバ、ソコニ非常ニ便利ヲ得ルノデアリマスガ、今日ノ現狀ヨリハ今回ノ此ノ稅ニ付キマシテハ非常ニ其ノ點ハ緩和シテ來ルヤウニナラウト思ツテ居リマス、此ノ相續稅ヲ實施スルニ當リマシテ、不動産デアルトカト、市場性ノナイ所ノ財産デアルトカ云フモノノ評價方法、ソレニ對スル納稅方法ニ付テハ餘リ迷惑ニナラヌヤウナコトヲ考ヘナケレバナラヌト思ツテ居ルノデアリマシテ、法律ニ背カザル限リニ於テ便宜ノ方法ヲ講ジタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○安宅彌吉君 今ノ納稅方法ト云フコトハ擔保モ含ンデスネ、例ヲ以テ擔保トスルガ、ドウモ同族會社ノ株券ヲ持ッテ行ッテ、之ヲ擔保ニスルカラ延期シテ呉レト云ツテモ政府ハ承知シナイコトモアルダラウト思フ

○國務大臣(櫻内幸雄君) 只今ノ問題ハ事務的問題デアリマスカラ、其ノ取扱ハ政府委員カラ申上ゲマス

○政府委員(大矢半次郎君) 先ヅ此ノ六大都市ト、其ノ都市ノアル府縣トノ地租ノ財源ノ分配ノ問題デアリマスガ、是ハ六大都市及ビ之ヲ管轄スル府縣ト他ノ府縣トノ間ニ於テ別ニ差別ハナイ、一樣ニ府縣ト市町村ト半々ニ出シテ居ルノデアリマスガ、一方

ニ於テ御承知ノ通り義務教育費ノ負擔ハ從來市町村デアリマシタガ、之ヲ府縣ニ移スト云フコトガ一ツノ大キナ市町村ノ負擔輕減デアリマシテ、六大都市モ其ノ方面ノ影響ハ非常ニ受ケルダラウト思フノデアリマス、ソレカラ配付稅ノ配付ニ當リマシテハ、六大都市ヲ含ム府縣ニ於テモ、還付稅トシテ外ノ府縣ト同様ニ還付ヲ受ケルト云フコトヲ前提ニ致シテ配付額ヲ決メル、斯ウ云フ風ニナリマスカラ、ソチラノ方デモ相當調整ガ取レルト思フノデアリマス、更ニ六大都市等ニ於キマシテ相當、財源ヲ要スル場合ニ於テハ、都市計畫特別稅ニ於キマシテ相當其ノ方面ニ財源ヲ求メ得ルト云フコトデアリマスガ、此ノ度都市計畫特別稅ノ財源トシテハ、府縣ヨリモ或程度市町村ニ委讓シテ居ル、其ノ結果六大都市方面ニ於テハ、相當其ノ方面ニ於テモ從來ヨリモ有力ナル財源ヲ得ラレル、斯ウ云フ風ニ考ヘマス、大體他ノ府縣ト同様ニ致シマシテ差支ナイダラウト存ジテ居リマス、ソレカラ同族會社ノ株券等ヲ相續稅ノ擔保ニ取ルノハドウカト云フ御話デアリマスルガ、市場性ノナイモノヲ擔保ニスルト云フコトハ、是ハ政府ガ處分スル場合ニ相當困難ナ場合ガアルト思フノデアリマシテ、同族會社トシマシテモ、若シモ有價證券ノ保全ヲ主トシテ居ル同族會社デアリマスレバ、其ノ同族會社ガ所有シテ居ル有價證券等ニ於キマシテ、相當市場性ノアルモノガアラウト思ヒマスカラ、同族會社自體ノ株式デナクシテ、其ノ所有シテ居ル株式ヲ擔保ニ入レルト云フ途モアルカト思ヒマス、ソレカラ相當事業ヲ營ンデ居ル同族會社ト致シマスレバ、資金關係ニ於テ左程苦痛ガナイデ

ハナカラウカ、若シモ土地ノミヲ持ッテ居ル同族會社ト致シマスレバ、其ノ土地等ヲ持ッテ居ル同族會社ニ於キマシテハ、相當資産ノ程度モ亦判ツテ來マスカラシテ、適當ナ方法モアラウト思ハレマス、或程度ノ解決ハ出來ルカト存ジテ居リマス

○安宅彌吉君 モウ一ツチヨット、今私ハ少シ申シ足ラナカッタカ知リマセスガ、同族會社ト申上ゲタケレドモ、純企業會社ノ意味デ私ハ申上ゲタノデアリマス、普通ノ保全會社ダッタ物ハアルデセウ、ソレガ純營業會社ダッタラ、銀行ニ入ッテ居ル擔保ヲ抜イテ提供スルト云フ譯ニハイカヌヤウニナル、專業ヲ營ンデ居ル爲ニ……、其ノ株式ヲ保有シテ居ル人、純企業會社デ政府ノ所謂同族會社ト認ムルモノノ株式ヲ所有シテ居ル人、サウ云フ人達ハ擔保力ガナイト云フコトニナルト、支拂方法ガ非常ニ困ラウト思フ、サウ云フ點ハドウ云フ風ニ御考ニナルカ、今後マア委員會ガ出來マシタナラバ御研究ヲ願ヒタイ、ソレカラ保全會社ハチャント物ガアルカラ宜イガ純企業會社ト云フモノノ株式ヲ持ッテ居ル所謂同族會社ト稱セラレル同族ノ株主、其ノ株主ガ、ソレヲ大事ナ自分ノ財産トシテ株ヲ持ッテ居ルト云フト、愈々相續稅ガ掛カルト云フ時ニ、其ノ株ヲ賣ルコトガ出來ナイ、斯ウ云フ場合ガアル、ソレカラ地方ノ今ノ稅ノ問題デアリマスガ、六大都市ハ、例ヘバ大阪ハ人口ガ、市ガ三百三十萬、大阪府ガ五百萬、三百三十萬ノ人口ノ所カラ稅ヲ取ラレテ、サウシテ今度分配スル時ニハ、市ト府ガ半分宛ニナル、二百五十萬宛ノ勘定デ分ケテ行クト云フ譯ニ行カス、ソレデ三百三十萬ノ人間カラ取ラレタ稅ガ今度還付セラレル

ハナカラウカ、若シモ土地ノミヲ持ッテ居ル同族會社ト致シマスレバ、其ノ土地等ヲ持ッテ居ル同族會社ニ於キマシテハ、相當資産ノ程度モ亦判ツテ來マスカラシテ、適當ナ方法モアラウト思ハレマス、或程度ノ解決ハ出來ルカト存ジテ居リマス

○安宅彌吉君 モウ一ツチヨット、今私ハ少シ申シ足ラナカッタカ知リマセスガ、同族會社ト申上ゲタケレドモ、純企業會社ノ意味デ私ハ申上ゲタノデアリマス、普通ノ保全會社ダッタ物ハアルデセウ、ソレガ純營業會社ダッタラ、銀行ニ入ッテ居ル擔保ヲ抜イテ提供スルト云フ譯ニハイカヌヤウニナル、專業ヲ營ンデ居ル爲ニ……、其ノ株式ヲ保有シテ居ル人、純企業會社デ政府ノ所謂同族會社ト認ムルモノノ株式ヲ所有シテ居ル人、サウ云フ人達ハ擔保力ガナイト云フコトニナルト、支拂方法ガ非常ニ困ラウト思フ、サウ云フ點ハドウ云フ風ニ御考ニナルカ、今後マア委員會ガ出來マシタナラバ御研究ヲ願ヒタイ、ソレカラ保全會社ハチャント物ガアルカラ宜イガ純企業會社ト云フモノノ株式ヲ持ッテ居ル所謂同族會社ト稱セラレル同族ノ株主、其ノ株主ガ、ソレヲ大事ナ自分ノ財産トシテ株ヲ持ッテ居ルト云フト、愈々相續稅ガ掛カルト云フ時ニ、其ノ株ヲ賣ルコトガ出來ナイ、斯ウ云フ場合ガアル、ソレカラ地方ノ今ノ稅ノ問題デアリマスガ、六大都市ハ、例ヘバ大阪ハ人口ガ、市ガ三百三十萬、大阪府ガ五百萬、三百三十萬ノ人口ノ所カラ稅ヲ取ラレテ、サウシテ今度分配スル時ニハ、市ト府ガ半分宛ニナル、二百五十萬宛ノ勘定デ分ケテ行クト云フ譯ニ行カス、ソレデ三百三十萬ノ人間カラ取ラレタ稅ガ今度還付セラレル

ハナカラウカ、若シモ土地ノミヲ持ッテ居ル同族會社ト致シマスレバ、其ノ土地等ヲ持ッテ居ル同族會社ニ於キマシテハ、相當資産ノ程度モ亦判ツテ來マスカラシテ、適當ナ方法モアラウト思ハレマス、或程度ノ解決ハ出來ルカト存ジテ居リマス

時ニ百何十萬ノ府ノ人口ト、三百三十萬ノ市ノ人口ニ應ジテ、半々ニ還付サレルモノデスカラ、市ノ經濟ト云フモノハ餘程困難ニナリハシナイカ、困難ニナルト矢張り何か外ノ税金ヲ取ラナクテハ危ナクナツテ來ルカラ、其ノ點ヲ伺ツタ譯デス

○政府委員(大矢半次郎君) 前ノ同族會社ノ株式ノ擔保ニ取ラレルカドウカト云フコトデアリマスガ、同族會社デアリマシテモ、相當事業ヲ營ンデ居リマシテ、配當等モ致シテ居レバ、其ノ株式ハ確實ニ相當市場性モアリ得ルカト思ヒマス、サウ云フ株式デアレバ擔保ニ取リ得ラレマスガ、サウデナクテ全然融通性ノない場合ハドウスルカト云フ問題ガアルノデアリマシテ、是ハ今後ノ問題トシテ研究致シタイト思ヒマス、ソレカラ今ノ後ノ、地租ノ點デアリマスルガ、先程申上ゲマシタ通り、其ノ半面ニ於テ義務教育費ヲ府縣ニ移スト云フコトハ、丁度安宅サンノ仰シヤツタモノノ裏ニナリマシテ、同様ノコトガ又言ハレルダラウト思フノデアリマシテ、ソレ等ノ點ヲ考ヘテ見ルト、大體今度ノ改正案デハ、六大都市ガ特ニ不利益ニナル點ハナカラウト存ジテ居リマス

○子爵八條隆正君 先刻衆議院ニ於ケル修正ノ箇所ノ印刷物ヲ配布ニナラレルト云フコトデアリマシタガ、同時ニ私ハ其ノ修正ニ伴フ歳入ノ減少ヲ平年度ト、ソレカラ初年度トニ分ケテ、修正ノ箇所毎ニ付テノ其ノ細カイ減少額ノ表ヲ材料トシテ要求致シマス

○西野元君 先刻委員長カラ御話ガアリマシタガ、大臣ノオイデノ所デスカラ、時間ヲ空費シナイ爲ニ、差控ヘテ居ツタノデア

リマスガ、今回ノ稅制改正ハ、度々御話ノアル通り中央、地方ヲ通ジテノ改正デアリマシテ、從ツテ此ノ諸案ヲ審議スルニモ、全體ヲ一括シテ審議スベキハ勿論當然デアラウト思フノデアリマス、唯會期ノ關係、其ノ他ノ爲ニ便宜御分ケニナツタコトト存ジマス、是ハ又我々ノ負擔ヲ軽減セラル、上ニ於テ大變結構デアリマスガ、唯自分ノ研究ト致シマシテハ、兩者相關聯スル點ガ非常ニ多イノデ、地方稅ノ整理ニ關スル計數等モ心得テ居リマセスト全體ノ御趣意ヲ了解スルコトガ出來ナイ、參考資料ダケハドウカ衆議院ヘ一括シテ御出シニナツタヤウナモノ、若シクハ貴族院ニ於テ、他ノ地方稅ノ委員會ノ方ヘ御提出ニナルヤウナモノ、順次一ツ御廻シテ願ツテ、我々ノ參考ニ供シテ戴キタイト思ヒマス、ソレヲ御願ヒ致シマス

○子爵大河内輝耕君 私モ材料ヲ請求致シマス、只今西野君カラ仰シヤツタコトニ勿論含マレテ居リマスシ、又衆議院ノ材料ヲ戴イテ、此處ニアルカモ知レマセヌガ、私ノ願ヒタイノハ地租ト營業稅ト家屋稅ノ、此ノ三ツニ付キマシテ、金額ノ上ニ如何ナル異動ガアルカ、國稅、地方稅ヲ引括テ計算シテ戴キタイ、ソレカラ特殊法人、特別法人ノ免稅、ドウ云フ點ヲ免稅ニナツテ居ル、特別法人ノ免稅額、法人稅ノミナラズ、總テノ課稅ガ外ノ普通法人ト異ナル點ヲ總テ舉ゲテ戴キタイ、次ニ免稅ニナル會社、是ハ個々ノモノヲ目的トシテ居ルノモアルシ、一般的ニ斯ウ云フ專業ヲスルト云フモノモアル、ソレヲ兩方共御示シテ願ヒタイ、ソレカラ今度稅ノ改正ニ依リマシテ納期モ變更ニナラウト思ヒマスガ、一々伺ツタラ大

變デスカラ、今度ノ改正案ニ依リマシテ一月ニ幾ラ、二月ニ幾ラ、三月ニ幾ラト云フ豫算ノ計數ヲ御出シニナツテ戴キタイ、ソレダケ御願ヒ致シマス

○橋本辰二郎君 私モ材料ヲ御願ヒ致シマス、綜合所得ノ各階級ニ於ケル現行率、竝ニ改正案ニ依ル課稅ノ比較表ヲ願ヒタイ、ソレカラ法人稅ノ一割、一割五分、二割、二割以上ハ一割刻ミニシテ、十割ニ至ル迄ノ新舊兩稅ノ負擔ノ比較表ヲ御願ヒ致シタイト思ヒマス、御分リニナリマシタカ……

○委員長(伯爵林博太郎君) 明日ハ午前十時ニ開會ヲ致シマスカラ左様御承知ヲ願ヒマス、本日ハ是デ散會致シマス
午後四時七分散會
出席者左ノ如シ

- | | |
|------|----------|
| 委員長 | 伯爵林 博太郎君 |
| 副委員長 | 男爵松岡 均平君 |
| 委員 | 公爵島津 忠重君 |
| | 侯爵細川 護立君 |
| | 子爵青木 信光君 |
| | 子爵大河内輝耕君 |
| | 子爵八條 隆正君 |
| | 子爵高橋 是賢君 |
| | 子爵三島 通陽君 |
| | 中川 健藏君 |
| | 男爵赤松 範一君 |
| | 男爵岩倉 道俱君 |
| | 男爵伊江 朝助君 |
| | 坂野鉄次郎君 |
| | 三浦 新七君 |
| | 河田 烈君 |
| | 西野 元君 |
| | 土方 久徵君 |

- | | |
|------|----------------|
| 國務大臣 | 櫻内 幸雄君 |
| 政府委員 | 大藏省主稅局長 大矢半次郎君 |
| | 大藏書記官 氏家 武君 |
| | 同 田中 豐君 |
| | 同 山田 義見君 |
| | 同 池田 勇人君 |
| | 澁澤 金藏君 |
| | 今井 五介君 |
| | 松本 眞平君 |
| | 磯野 庸幸君 |
| | 橋本辰二郎君 |
| | 安宅 彌吉君 |
| | 野村 徳七君 |

昭和十五年三月十九日印刷

昭和十五年三月十九日發行

貴族院事務局

印刷者 內閣印刷局